

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

<24週> ヘルパンギーナ 流行シーズンに向けて増加 / その他
最新動向

<5月> 性感染症・薬剤耐性菌について



注目すべき感染症
P.5

<手足口病> 九州地方、群馬県、奈良県などで報告患者数が多い
<腸管出血性大腸菌感染症> 第24週の報告患者総数は63で、うち有症
者は29



病原体情報
P.6

患者から分離されたウイルス検出報告 手足口病 / 咽頭結膜熱 /
流行性角結膜炎 / Vero毒素産生性大腸菌



IASRからの速報
P.7-8

日本人海外旅行者のデングウイルス感染症例(1994～1999年、大
阪) / 東京都におけるデング熱患者の発生



海外感染症情報
P.9

クリミア・コンゴ出血熱を疑わせる急性の出血熱 アフガニスタン /
他



感染症の話
P.10-14

ラッサ熱
年間20～30万人位の感染者が推定され、
西アフリカ帯に見られる急性ウイルス
感染症



読者のコーナー
P.15



グラフ総覧(24週)
P.16-22



グラフ総覧(5月)
P.23-27



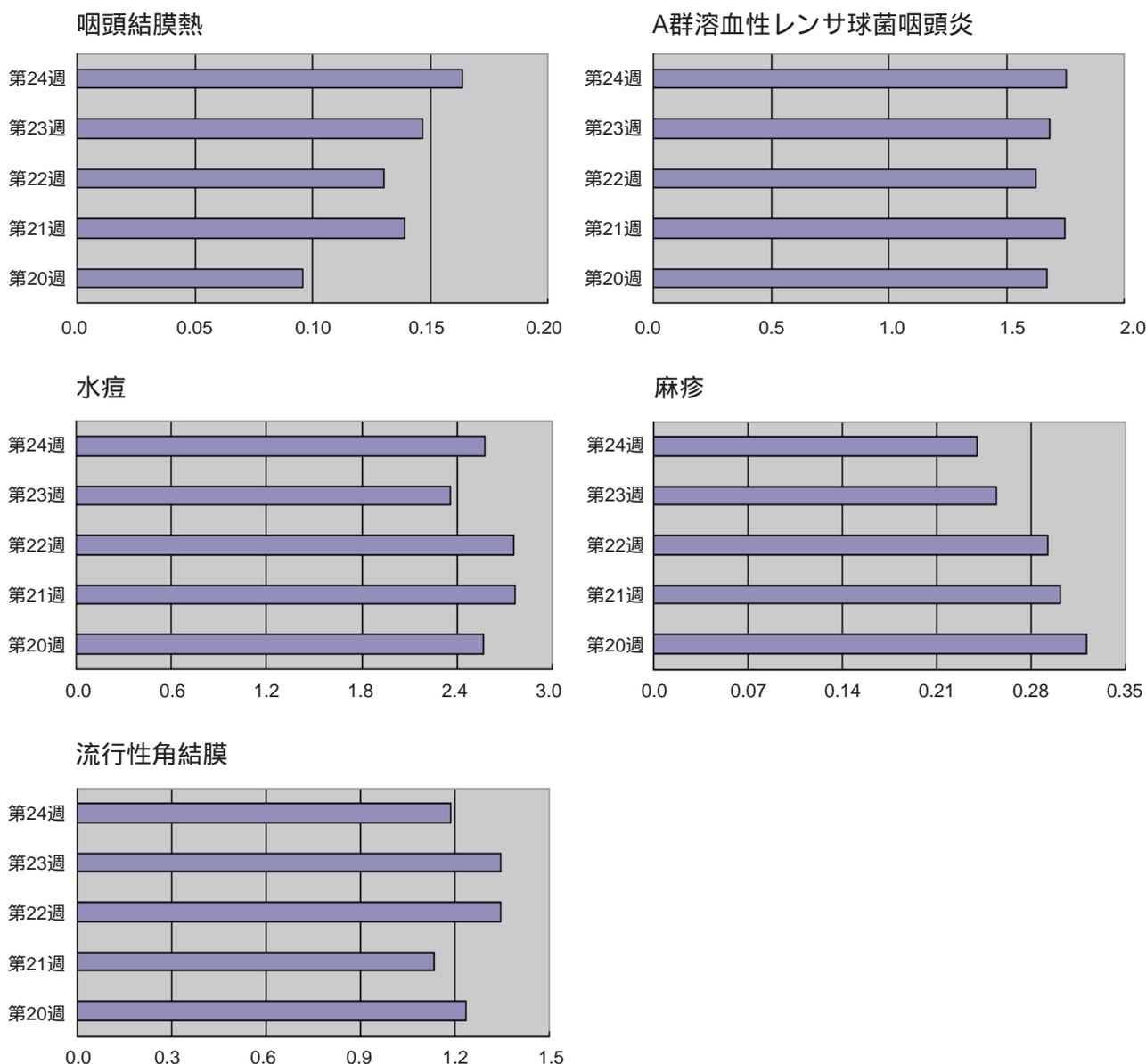
5月のデータ
P.28-30



24週のデータ
P.31-38

最近の注目疾患-5週間の動き

咽頭結膜熱は前週より定点当たり報告数が多くなっており、患者報告数は増加傾向にある。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎の定点当たり報告数はこのところほぼ横ばいとなっている。水痘の定点当たり報告数は前週より多くなった。麻疹の定点当たり報告数は、第19週をピークに緩やかに減少傾向をみせている。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

5月コメント 6月12日集計分

【注】)内の+、-は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少を表す。

性感染症について

5月のSTD定点総数: 905 .

5月の定点当たり報告数: 性器クラミジア感染症 3.2(+)(男1.4、女1.9)

性器ヘルペスウイルス感染症 0.86(+)(男0.36、女0.49)

尖形コンジローム 0.44(+)(男0.25、女0.19)

淋菌感染症 1.4(+)(男1.2、女0.2)

年齢階級別: 20-24歳で最も多い・・・性器クラミジア感染症(総数、男性、女性)

性器ヘルペスウイルス感染症(総数、女性)

尖形コンジローム(総数、男性、女性)

淋菌感染症(総数、女性)

25-29歳で最も多い・・・淋菌感染症(男性)

30-34歳で最も多い・・・性器ヘルペスウイルス感染症(男性)

薬剤耐性菌について

5月の基幹定点総数: 447 .

5月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.1(+)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 0.95(+)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.10(+)

年齢階級別: MRSA感染症・・・・・・・報告数の55.3%は70歳以上の高齢者であり、0歳と65-69歳にも多い。

PRSP感染症・・・・・・・1-4歳が最も多く、全体の46.9%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症・・・高齢者に多く見られ、全体の48.9%が70歳以上であった。



注目すべき感染症

手足口病流行状況

今シーズンは第13週ごろより流行曲線が立ち上がり始め、第20、21週と患者報告数が急増した。流行の大きかった'90年、'95年の流行曲線も第19週頃より急速に立ち上がっており、今年の流行曲線も現在のところこれらの流行年に見られたパターンに近く、今後疾患の動向に注意が必要である。

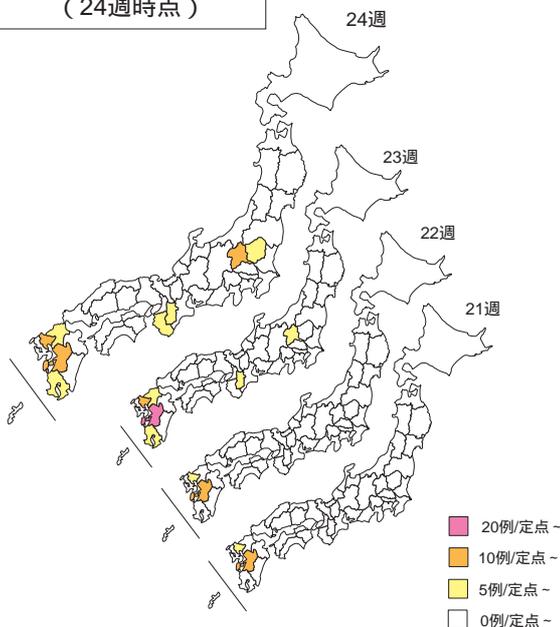
第24週(6月12日～6月18日)の、全国定点医療機関からの手足口病報告患者総数は7,358で、定点当たり報告数は2.5であった。定点当たり報告数が多いのは、以下の地図グラフで示すとおり、熊本県(定点当たり報告数16.7)、佐賀県(16.2)、福岡県(8.2)、鹿児島県(7.8)などの九州地方と、群馬県(10.2)、奈良県(9.1)などである。

熊本県では、先週に比べ定点当たり報告数が減少した。同県では、手足口病の流行に伴って無菌性髄膜炎患者の報告が多くなっており、第24週の全国の無菌性髄膜炎患者報告総数は66で、そのうち18例が熊本県からの報告であった。

病原体報告によると、無菌性髄膜炎から分離されたウイルスは第24週ではEV71が最も多く11件であった。また、病原体検出情報事務局に入った情報によると、熊本県の手足口病患者及び無菌性髄膜炎患者からはEV71が分離されており、奈良県、山形県の手足口病からはコクサッキーウイルスA16型が分離されている(6ページ病原体情報参照、山形県からの分離報告については、感染症情報センターホームページ、IASR、速報記事参照～<http://idsc.nih.go.jp/rapid/index-k.html>～)。

手足口病は通常予後良好な疾患であるが、EV71は他のウイルスより中枢神経系の合併症の発症率が高いことが知られている。

手足口病発生動向調査
(24週時点)



腸管出血性大腸菌感染症流行状況

腸管出血性大腸菌感染症は、1996年7月の大阪堺市での大規模な集団発生を契機に同年8月より指定伝染病となり、患者と保菌者の届け出が義務づけられた。さらに、1999年4月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」においては、3類感染症として位置づけられ、全臨床医に患者及び無症状病原体患保有者を届け出る義務が課せられている。患者数は1997年1,941人、1998年2,077人、1999年2,990人となっており、いずれも夏季の7～8月に患者数がピークに達し、冬季には減少するパターンとなっている。

2000年第24週(6月12日～6月18日)の、全国定点医療機関からの腸管出血性大腸菌感染症患者総数は63、うち有症者29、2000年第1週からの累積患者報告数は595となった(病原体については6ページ病原体情報参照)。



病原体情報

手足口病患者から分離されたウイルス

2000年(2000年6月20日現在報告分)

コクサッキーウイルスA16型が大阪市から1件(第10週)、山形県から7件(第16週:1件、19週:3件、20週:3件)と奈良県から2件(第18、20週)、コクサッキーウイルスA9型が新潟県から1件(第15週)、エンテロウイルス71型が神奈川県から2件(第4、6週)、大阪府から2件(第6、9週)、熊本県から1件(第13週)、福岡市から1件(第14週)、北九州市から1件(第18週)の分離報告があった。

また、熊本県では無菌性髄膜炎患者からエンテロウイルス71型が1件(第14週)分離報告があった(IDWR第23週IASRからの速報記事参照)。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

2000年(2000年6月20日現在報告分)

アデノウイルス1型が川崎市と長野県(第8週)、新潟県(第14、21週)、大阪府(第20週)からそれぞれ1件、2型は長野県(第2週)、広島市(第8週)、大阪府(第20週)から各1件、3型は大阪府(第3週)と広島市(第16週)からそれぞれ1件、4型は新潟県(第5週)から1件の分離報告があった。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス

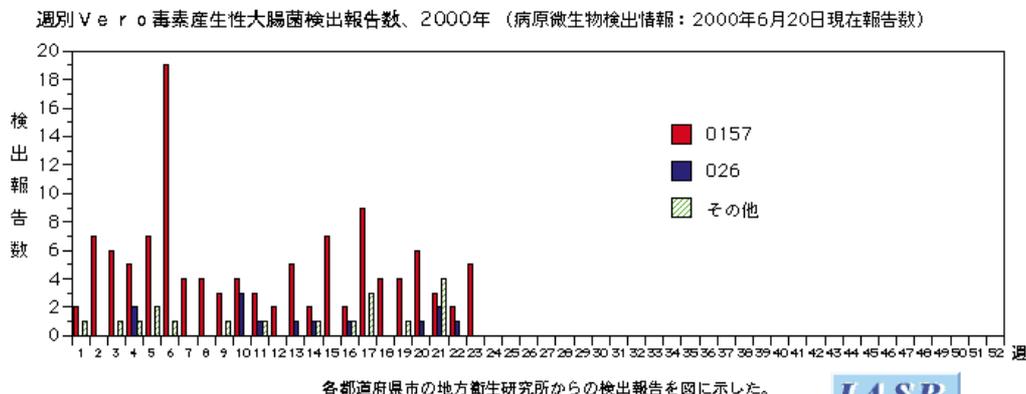
2000年(2000年6月20日現在報告分)

岡山県からアデノウイルス4型が2件(第2、5週)とアデノウイルス37型が1件(第5週)、神奈川県(第2週)と川崎市(第5週)からアデノウイルス19型が各1件、川崎市からアデノウイルス2型が1件(第16週)、香川県からアデノウイルス3型が1件(第14週)、札幌市からアデノウイルス8型が1件(第18週)の分離報告があった。

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告

2000年(2000年6月20日現在報告分)

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が115件、O26が13件であり、5月以降ではO157が千葉市、岐阜県、大阪府、和歌山県、広島市、島根県、佐賀県から、O26が岐阜県、大阪府、島根県、福岡市からの分離報告がされている。



日本人海外旅行者のデングウイルス感染症例(1994～1999年、大阪)

日本におけるデング熱の流行は、1942～1945年にかけて、長崎や大阪などで見られたが、その後はデング熱の国内発生の報告はない。しかし近年、東南アジアを中心として、熱帯、亜熱帯地域でデングウイルス(DEN)感染症が日常的に流行しており、これらの方面への日本人旅行者が現地で感染して、帰国前後に発症する例が少なくないと言われている。我々は、1994年から1999年にかけて海外に旅行または滞在中にデング熱に罹患した疑いのある患者27名のうち、21名について、ウイルス学的、血清学的調査を行った。

DENに対するHI抗体は、21名中14名のペア血清で有意に上昇した。HI試験ではフラビウイルス群に共通の交差反応性を示しているが、PanBio社(オーストラリア)のDengue fever IgM, IgG検出キットで、ウイルスが検出された7例中の6例の急性期血清でdengue-IgMが陽性であった。ただし、症例No.11の第6病日血清はIgM陰性で、第14病日血清では陽性であった。症例No.21(第2病日血清)でIgMは陰性であった。

デング熱の確実な診断法は患者の血液からDENを分離するか、あるいはDEN遺伝子を検出することとされている。今回、我々はDEN感染を疑われた患者21名のうち、13名の急性期血液でウイルス分離試験を行い、6例からウイルスが分離され、別の1例はPCRのみ陽性であった。ウイルス分離、検出のための材料は、血漿(血清)部分より全血液または、白血球部分が適切であると思われる。デング熱のウイルス血症持続期間は通常、発病後5～6日間とされており、今回ウイルスが分離された6症例は、採血日がウイルス血症持続期間内であった。

通常、DENに感染した患者の多くは軽度の症状で経過するとされているが、近年、東南アジア諸国で重症型のデング出血熱やデングショック症候群の症例が報告されるようになってきた。これらは別の型のDENの二次感染によって起こるとい報告が多い。東南アジア諸国への旅行が増えている日本人旅行者も今後、これに罹患する恐れがある。従って、輸入感染症としてのDEN感染症に対して、迅速で確実な診断が望まれる。

大阪府立公衆衛生研究所 木村朝昭 弓指孝博 奥野良信

(病原微生物検出情報6月号-IASR vol.21 No.6, 2000-掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)

東京都における Dengue 熱患者の発生

2000(平成12)年4月11日に、感染症発生動向調査定点病院(基幹定点)から Dengue 熱疑い患者の血清が搬入された。発病月日、臨床症状などは以下に示した。直ちに簡便法である PanBio の Dengue IgM, IgG Rapid Immunochromatographic Test を行ったところ、IgM 抗体が陽性、IgG 抗体は陰性であった。確認のため、Dengue IgM capture ELISA を行った結果、PanBio units = 29.8 (positive = PanBio units > 11) で IgM 抗体は陽性であった。この時点で結果を基幹定点病院に報告し、病院側は海外旅行歴や臨床症状および IgM 抗体陽性結果から 2000 年 4 月 13 日に「四類感染症・全数報告・ Dengue 熱」として届け出をした。

ウイルス学的検査として、血清中の Dengue ウイルス遺伝子の検索と C6/36 細胞によるウイルス分離試験を行った。結果は、遺伝子 1～4 型およびウイルス分離とも陰性であった。

患者の臨床症状および検査結果

患者	M.T (22歳、男)
発病日	2000 (平成12) 年4月1日
初診日	平成12年4月6日
採取日	平成12年4月7日 (検体: 血清)
疫学的事項	散発 (スリランカ旅行・さし口あり)
臨床診断名	Dengue 熱疑い
臨床症状	発熱 (最高 39)、発疹、関節・筋肉痛、上気道炎、肝脾腫 発熱 1 週間、白血球数 16,000/μl、
備考	血小板減少 3.5 万/μl 以下 解熱の折り、四肢に強い全身点状疹・膨隆はなし 四肢とも手掌足背にも発疹あり ウイルス分離 C6/36 細胞に接種 (-)
検査結果	PCR D1 (-)、D2 (-)、D3 (-)、D4 (-) 抗体検査 immunochromatographic test IgM (+)、IgG (-) ELISA IgM (+) (PanBio units = 29.8)

東京都立衛生研究所・微生物部 田部井由紀子 吉田靖子 平田一郎

(病原微生物検出情報6月号-IASR vol.21 No.6, 2000-掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

クリミア・コンゴ出血熱を疑わせる急性の出血熱 - アフガニスタン

WHO/CSR 2000年6月19日

アフガニスタンGulran地区の周囲と隔絶されている村で、急性の出血熱の流行が報告されている。症状はクリミア・コンゴ出血熱のそれと一致している。6月16日この流行抑制対策と調査のためWHOによる国際調査団が流行地域に到着した。調査団は南アフリカ共和国のNational Institute of Virology(NIV-South Africa)、フランスのEpicentre、およびWHOの専門家家で構成されている。

予備調査によれば、患者の発生は5月初旬に始まり、現在も引き続き発生している。調査団は死者15名を含む25名の疑い患者を確認した。検体が採取され、流行の病因を特定するためNIVに送付された。

調査団は、出血症状を呈する患者の介護のため手袋やマスクなどの基本的な防護服とサラシ粉(chlorine bleach)などの消毒剤を供給し、それらの使用方法について指導を行った。出血症状のある患者の処置を行っているHeratの病院に隔離場所が作られ、WHOにより器材等の支援が行われ、医療関係者と看護職員に対する感染予防の訓練が行われる予定である。

廃棄された天然痘ワクチンによる事故 - ロシア連邦(極東)

WHO/CSR 2000年6月20日

Vladivostockで廃棄された天然痘ワクチンのアンプルで遊んでいた8名の幼児の間で発症がみられたという報告をロシア連邦保健省は確認した。幼児の同疾患の検査室検査による確認が求められている。この報告は市民の関心を引き起こしている。報告の中には、天然痘を予防するために使用されたワクチンの株や、また国によって現在も天然痘ワクチンを保管しようとしている理由について誤った認識がみられた。以下は、これらの問題について明らかにする目的で記述している。

1)天然痘ワクチンは天然痘ウイルスから製造されていない

約二百年使用されてきた天然痘ワクチンは、天然痘ウイルスではなくワクチニアウイルスから製造されている。ワクチニアは天然痘ウイルスと同じ科に属するが、ワクチニアは天然痘を引き起こすウイルスとは異なるウイルスである。天然痘ウイルスはVariola virusとも呼ばれる。ワクチニアウイルスから製造された天然痘ワクチンの集団接種により、WHOは1980年に天然痘の根絶を宣言した。天然痘ワクチン接種者の副反応は、軽微で一過性のものから重症化(極めて稀に死亡)するものまでみられる。

2)2カ国が現在も天然痘ウイルスを保管している

天然痘は根絶されたが、合衆国CDC(Atlanta)とロシア連邦(Koltsovo)の2カ所の研究所では現在も天然痘ウイルスを保管している。

3)多くの国では天然痘ワクチンを保管している

WHOは現在も天然痘ワクチンの在庫がある国はそれら在庫を保持することを勧めている。この推奨は2つの理由に基づいている。まず、ワクチニアウイルスやその他同じ科のウイルスを取り扱う研究者に対しワクチン接種を行うため、現在も少量のワクチンの需要がある。これらのウイルスの中には自然界に存在し、動物に病気を引き起こすものがある。様々な感染症に対して新しい安全なワクチンを製造する研究目的で使用されているウイルスもある。第二に、天然痘ワクチンは、天然痘ウイルスが意図的あるいは事故により放出された場合にも必要になる。そのような例はほとんど起こり得ないが、現在いくつかの国に大きな関心を与えている。

この内容について、詳しい情報については以下を参照。

<http://www.who.int/wer/pdf/2000/wer7506.pdf>

4)生物製剤や医薬品の廃棄

ワクチン、薬品および診断用標本のようなすべての生物製剤は安全に廃棄されなければならない。廃棄処分前に不活化処理が必要なものもある。この処理はオートクレーブや焼却処分によって可能である。



感染症の話

ラッサ熱(Lassa Fever)

ラッサ熱は、西アフリカ一帯にみられる急性ウイルス感染症である。ラッサとは1969年に最初の患者が発生した村の名に由来する。ラッサウイルス(Lassa virus)はアレナウイルス科に属し、西アフリカ一帯に生息する野ネズミの一種であるマストミス(*Mastomys natalensis*)が自然宿主である。当初は主に院内感染として集団発生がしばしばみられたが、1970年代(72～74年頃)にウイルスが分離され性状がわかり伝播経路が判明してからはナイジェリアを除き院内感染は激減した。米国厚生省のCDCが西アフリカ最西端のシエラレオネに調査研究基地を置き1976年以来20年間にわたる調査の結果、致死率は感染者の1～2%であることも疫学的に判明してきた。本症の非流行地への輸入例は現在まで22例存在する。18例目はわが国でシエラレオネから帰国した人に1987年3月ラッサ熱が発症したが回復した。19例目は米国で1989年1月ナイジェリアからの帰国者で死亡6時間前に診断が確定された。いわゆるウイルス性出血熱4疾患の一つである。本年に入りシエラレオネから英、ドイツに各1例、ナイジェリアからドイツに1例の輸入例があった。

〔ウイルス性出血熱とは何か?〕

ウイルス性出血熱と定義される疾患は4種ある。ラッサ熱、マールブルグ病、エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱である。ウイルス性出血熱の特徴は、ウイルスがヒトに感染し皮膚や内臓に出血を生ずるところにある。さらにその病因ウイルスは、①かなり限られた地域 すなわちアフリ

表1. ウイルス性出血熱と出血を生ずるウイルス病

疾患名(登場年)	ウイルス(科)	自然宿主と感染経路	分布地域
ラッサ熱(1969)	ラッサ(アレナ)	マストミス ヒト ヒト;まれに院内感染	西アフリカ一帯
エボラ出血熱(1976)	エボラ(フィロ)	不明 ヒト ヒト;不十分な医療用具による看護、介護での感染	アフリカ中央部
マールブルグ病(1967)	マールブルグ(フィロ)	不明 ヒト ヒト/サル ヒト ヒト	アフリカ中東南部
クリミア・コンゴ出血熱(1945,1956)	コンゴ(ブニヤ)	哺乳動物 ダニ ヒト ヒト;しばしば院内感染	アフリカ全土、中近東、中央アジア、インド亜大陸、東欧、中国
南米出血熱	フニン、マチュボ、グアナリト、サヒア(アレナ)	アルゼンチン出血熱、ボリビア出血熱、ベネズエラ出血熱、ブラジル出血熱 野ネズミ ヒト	南米
黄熱	黄熱(フラビ)	蚊 ヒト	アフリカ、中南米
腎症候性出血熱	ハンタ(ブニヤ)	野ネズミ ヒト	アジア、欧州
ハンタウイルス肺症候群	ハンタ(ブニヤ)	野ネズミ ヒト	米国
リフトバレー熱	リフトバレー(ブニヤ)	蚊 ヒト	アフリカ全域、中近東
デング出血熱	デング(フラビ)	蚊 ヒト	東南アジア、インド、中南米

VHF: クラス4病原体、ヒトからヒトへの感染が見られる。 クラス4病原体、ヒト ヒト感染はまれ。
 クラス3病原体(CDCでは、ハンタウイルス肺症候群についてはクラス4扱いとしている。)

カのサハラ砂漠以南 に存在する。ただしクリミア・コンゴ出血熱はアフリカ以外にも広く分布する。②臨床的に突発的な発熱、頭痛、咽頭痛を主症状とし重症インフルエンザ様を呈する。重症化すると出血(吐血、下血)によりしばしば死に至る。③最も重要な点は感染者や患者の血液や体液、排泄物によりヒトからヒトへ感染が伝播することである。院内感染や家族内感染をし、しばしば予期せぬ事態が発生する。他の出血性ウイルス病とは③により区別される(表1)。分布地域を図1に示す。

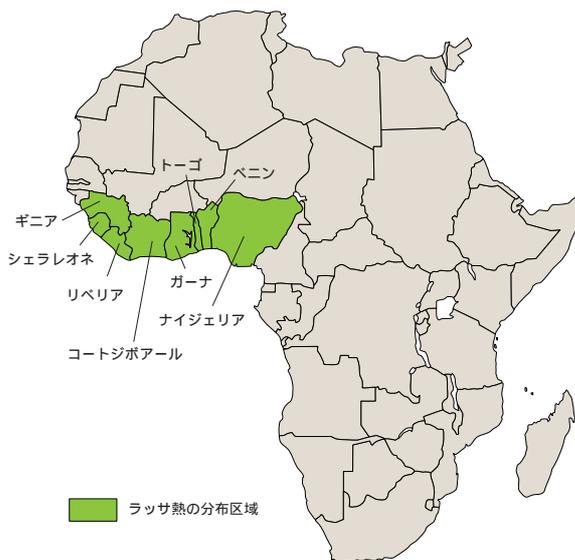


図1 .ウイルス性出血熱の分布地域

疫学

ラッサ熱はウイルスを保有するマストミスが存在するナイジェリアからシエラレオネ、ギニアに至るアフリカー帯及び中央アフリカ共和国等で局地的流行状態にある。年間20～30万人位の感染者があると推定されている。上記の地域でラッサウイルスを有するマストミス、患者、感染者(抗体陽性者)が存在する。

シエラレオネの15カ村の調査で抗体保有率は8～52%で純農村型村落で高く、外部との交流の多い地域では低い。都市ではみられない。抗体保有率は年齢と共に上昇し50歳代でピークに達する。マストミスのウイルス保有率も村落により異なり70～80%である。マストミスの生息状態、ヒトでの感染率からみてラッサ熱は西アフリカー帯の日常生活に密着した風土病ともいえる疾患である。シエラレオネ以外の国ではCDCが実施したような詳細な調査はなく実態は不明である。ナイジェリアでは1989年、1992年と院内感染で多数の感染者と死亡者が発生している。ウイルスを保有するマストミスの尿や唾液中には多量のウイルスが排出されるがマストミスは病気にはならず、ヒトへの感染はそれらとの接触(手、足の目に見えない傷)と咬まれる等による。ヒトからヒトへは血液、体液等(粘膜の接触を含む)で感染拡大がおこる。院内感染は基本的医療材料、すなわち手袋、ガウン、マスク、ゴーグル、長靴等の不足によることが多い。また注射器の不足により汚染注射器の繰り返し使用もエボラ出血熱同様感染拡大の中心となっている。1975年までにウイルスの性状解析がほぼ終わり、感染経路が明らかにされてからはナイジェリア以外では院内感染はほとんど起きてはいない。

血液や体液による接触感染以外の感染例(空気感染等)は見られてはいない(CDCのフィールド及び4,400人の患者調査による)。すなわち医療機関の構造がいかに貧しくても接触感染を防ぐ手段があれば伝播は起こらない。

病原体 Lassa virus

ラッサウイルスは1本鎖RNAとエンベロープを持ちアレナウイルス科に属する。このウイルスはアフリカにしか存在しないが、ヒトに病気を起こすアレナウイルス科のウイルスには他にマチュポ(ボリビア出血熱)、フニン(アルゼンチン出血熱)、グアナリ(ベネズエラ出血熱)、サビア(ブラジル出

血熱)の4種が知られ、いずれも南米に存在する。その他世界中に存在するものとしてLCM (lymphocytic choriomeningitis virus)が知られている。いずれも野ネズミが自然界の宿主であり前4者はレベル4に属しウイルスを増殖させるためには最高度安全実験施設(いわゆるP4実験室)が必要となる。患者の退院の指標は血液、尿からウイルスが分離されないこととされている。

病原診断

基本的には培養細胞を用いて咽頭ぬぐい液、血液、尿等からウイルスを分離することである。迅速診断法としてはPCR法によりウイルスの遺伝子断片を検出する。急性期には抗原検出も可能であるが確率は劣る。抗体測定にはELISA、免疫蛍光法が用いられている。発熱後追跡すると、IgMは30%内外のヒトでしか出現せず、いきなりIgGが出てくることが多い。

臨床症状(表2)

潜伏期間は7～18日で発症は突発的であるが進行は徐々である。発熱、全身倦怠感を初発症状とし39～41の高熱を朝夕に示す。続いて大関節痛、腰部痛が3～4日目にあらわれる。頭痛、咳、咽頭痛が大部分の患者でみられる。さらに後胸骨痛、心窩部痛、嘔吐、下痢、腹部痛がよくみられる。重症化すると、顔面、頸部の浮腫、消化管粘膜の出血、脳症、胸膜炎、心のう炎、腹水、時にショックがみられる。いったん軽快し、2～3ヶ月後に再燃し、心のう炎や腹水を生ずることもまれにある(1987年の日本へ輸入された例はこの再燃型であった)。再燃については何らかの免疫学的機序が考えられている。また重症例の約1/4にみられる種々の程度の不可逆性の知覚神経性ろろが最近注目されている。妊婦の重症化はよくみられ胎内死亡、流早産をおこす。

流行地でのヒトからヒトへの感染はよくみられるが、非流行地へ入ったラッサ熱が2次感染を起こした例はない。検査所見上、脱水によるBUN値の上昇を除けば生化学検査で酵素(AST、ALT、CPK等)等の値に特にラッサ熱に特徴的所見はない。

表2. ウイルス性出血熱の臨床症状、診断、治療

疾患	潜伏期間	症状	診断法	治療法
ラッサ熱	7～18日	発症は突発的、進行は徐々 高熱(39～41)、全身倦怠感 3～4日目に大関節痛、咽頭痛、咳、次いで 心窩部痛、後胸骨痛、嘔吐、下痢、腹部痛 重症化すると、顔面頸部浮腫、結膜・ 消化管出血、心嚢・胸膜炎	①血液、尿からのウイルスを分離 ②IFAやELISAによる抗体検出	リバビリン(日本では市販されていない)を 発症直後に用いると有効 (死亡率:90% 10%に) ワクチンはない
エボラ出血熱	2～21日	発症は突発的 主症状はインフルエンザ様、発熱、頭痛(100%)、 腹・胸部痛、咽頭痛(80%) 出血は死亡例の90%以上	①血液などからウイルスを分離 ②抗体上昇を確認する (IFA, ELISA)	対症療法のみ ワクチンはない
クリミア・コンゴ出血熱	2～9日	非特異症状、発症は突発的 発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛 重症化すると、全身の出血、血管虚脱 死亡例では消化管出血、肝・腎不全 感染者の発症率は約20%	①発症1週間以内に血液からウイルスを分離 ②抗体上昇を確認 (IFA, CF)	対症療法のみ ワクチンはない
マールブルグ病	3～10日	発症は突発的 発熱、頭痛、筋肉痛、皮膚粘膜発疹、咽頭結膜炎 重症化すると下痢、鼻口腔・消化管出血	①血液からウイルスを分離 ②抗体上昇の確認	対症療法のみ ワクチンはない

IFA: 免疫蛍光抗体法、 ELISA: 固相酵素免疫検定法、 CF: 補体結合反応

治療・予防

感染予防ワクチンはない。治療にはリバビリン(ribavirin : 静注)が著効を示す。発症6日以内に投与を開始すると70～80%の致死率を数%に激減させうる。患者との濃厚接触がある場合、あるいは実験中の病原体や感染材料への曝露がある場合には経口投与による発症予防効果も期待できる。

発生動向調査

非流行地では患者とどのような接触をしたかにより周辺調査の仕方が異なる。表3に接触の状況と周辺者の調査の仕方について示す。このウイルスは空気感染するわけではないので基本的な感染防御策(universal precautions)で十分対応しうる。

表3

接触の意味	ウイルス性出血熱 (VHF) 患者との接触の際の対応
-------	------------------------------

患者接触者 : (このウイルスは空気感染は否定されている。)

通常の接触 : ホテルで同宿、飛行機で同乗者はサーベイランスの必要はない。

リスクのある接触者 : 患者と同居、介護、看護にあたった人、握手したり、患者を抱擁した人、患者検体を取り扱った人、等については患者の診断が確定した時点で監視下に置く。症状がないかぎり入院の必要はない。検温は1日2回実施する。38.3 以上の発熱、その他いかなる症状も詳細に記録し、最終接触後3週間は監視する。

ハイリスクの接触 : 患者と粘膜の接触の会った人、即ちキス、性行為等、あるいは患者の分泌物、排泄物、血液、組織、体液等を扱う際に針刺しや傷口に直接接触れる等があった人については、VHFの診断がつきそうな時直ちに監視下に置く。接触者が38.3 以上の発熱を示したり、いかなるVHFの症状を示した時も直ちに収容しVHFの患者としての取り扱いをする。

感染症新法の中でのラッサ熱の取扱い

ラッサ熱は第1類感染症に定められており、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る必要がある。類似患者、患者、無症状病原体保有者のいずれであっても届け出は必要である。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

当該疾患を疑う症状や所見があり、かつ、以下の方法によって病原体診断または血清学的診断がなされたもの。

(材料) 血液、血清、尿、咽頭スワブ、及び剖検材料等

- ・病原体の検出
例: ウイルスの分離など
- ・抗原の検出
例: ELISA法など
- ・病原体の遺伝子の検出
例: PCR法など
- ・血清抗体の検出
例: IgM、IgGの免疫蛍光法による検出など

当該疾患を疑う症状や所見はないが、病原体か抗原が検出されたもの
(病原体や抗原は検出されず、遺伝子や抗体のみが検出されたものを含まない)

疑似症の診断

臨床的特徴に合致し、以下の疾患の鑑別診断がなされたもの

(鑑別診断)他のウイルス性出血熱、チフス、赤痢、マラリア、デング熱、黄熱等

《備考》

当該疾患を疑う症状や所見はないが、病原体や抗原は検出されず、遺伝子や抗体のみが検出されたものについては、法による報告は要しないが、確認のため保健所に相談することが必要である。

学校保健法の中でのラッサ熱の取扱い

ラッサ熱は学校において予防すべき伝染病第1種に定められており、治癒するまで出席停止となる。

(国立感染症研究所 倉田 毅)



読者のコーナー

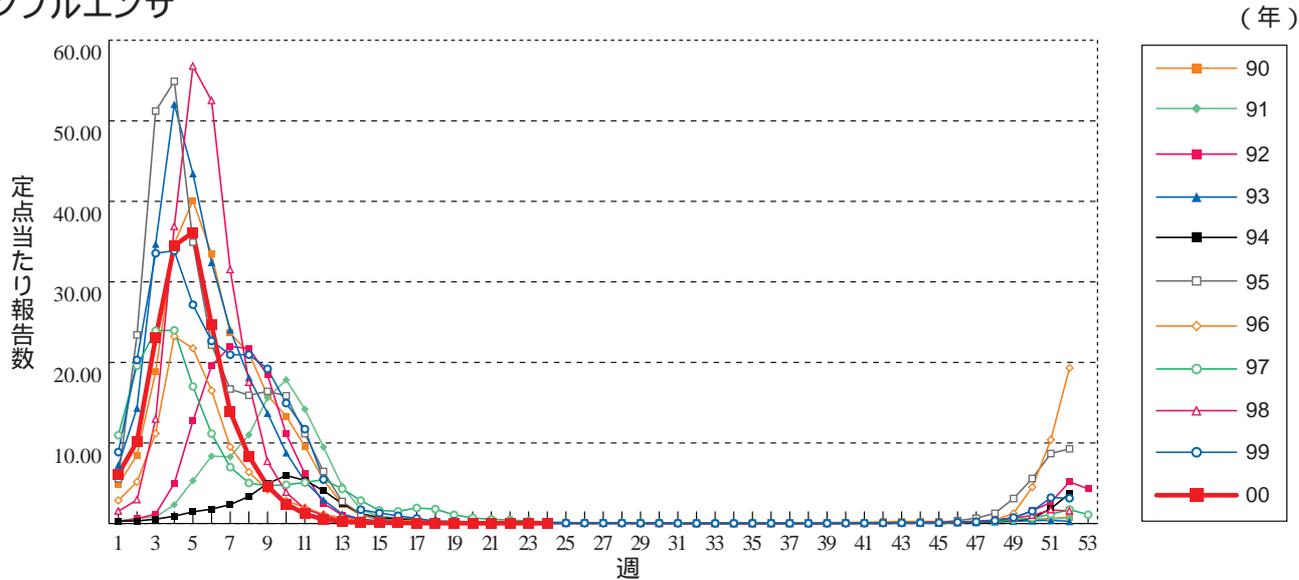
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

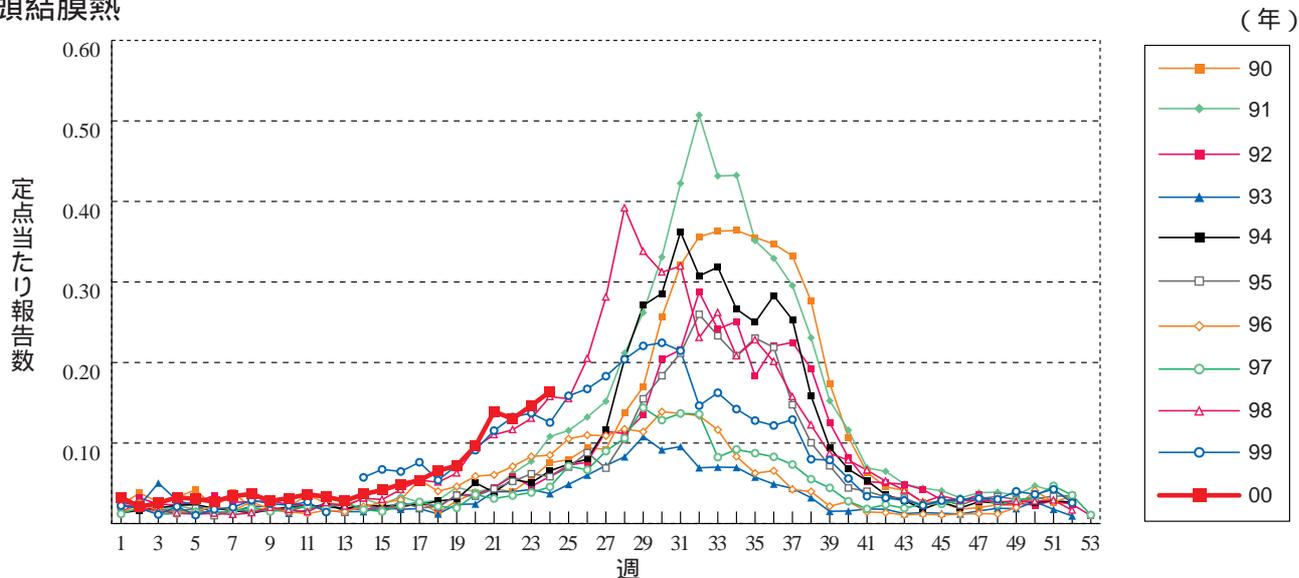


グラフ総覧(24週)

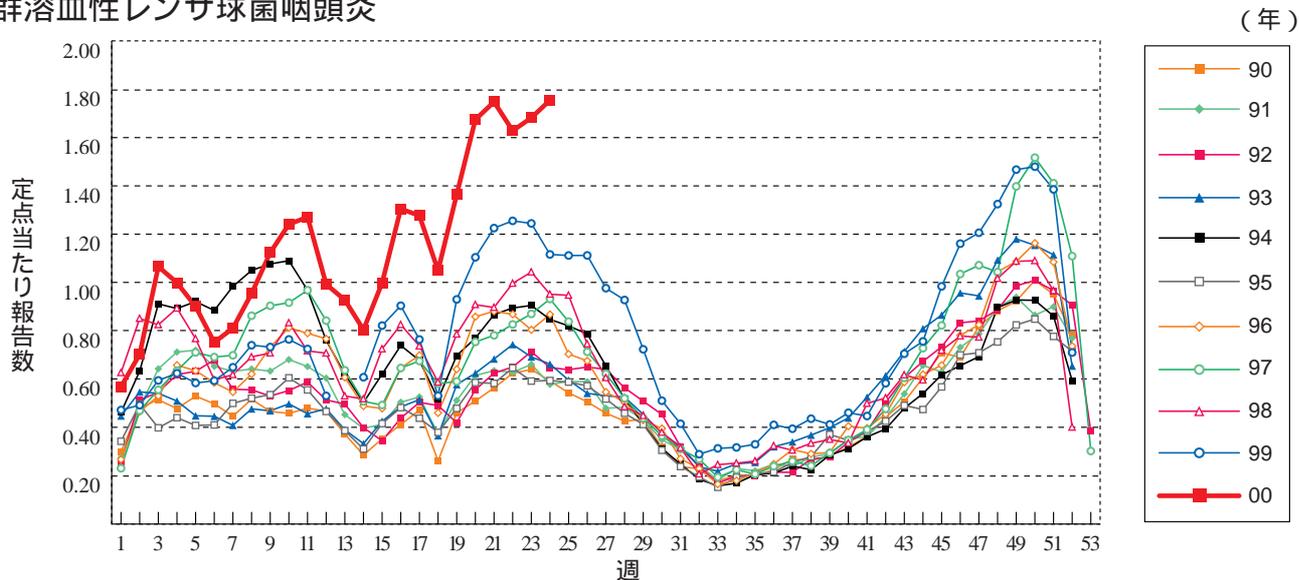
インフルエンザ



咽頭結膜熱

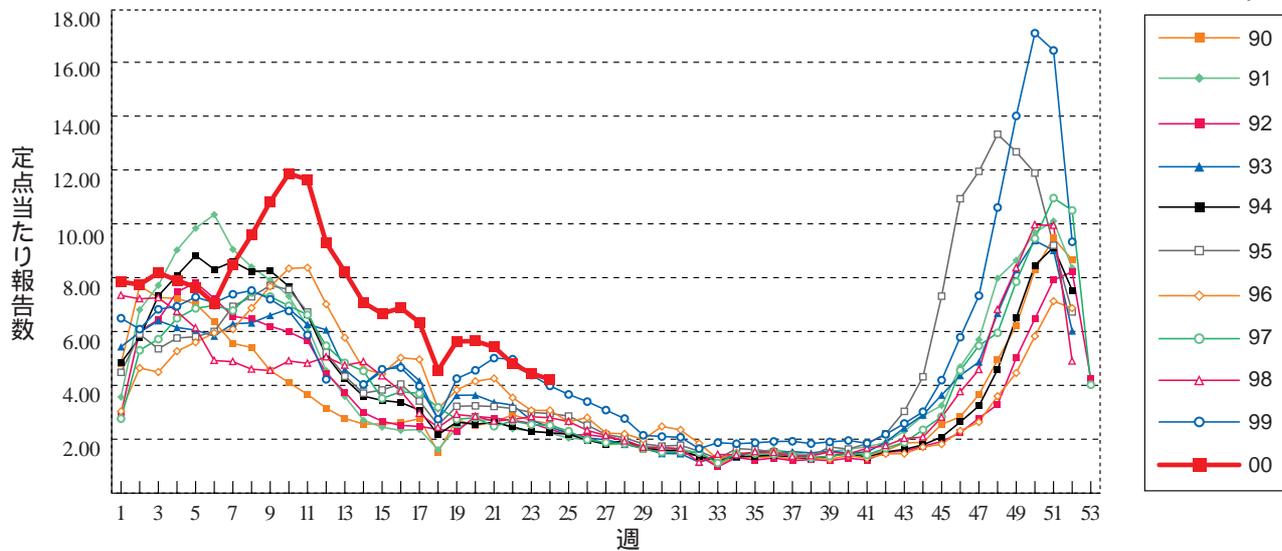


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



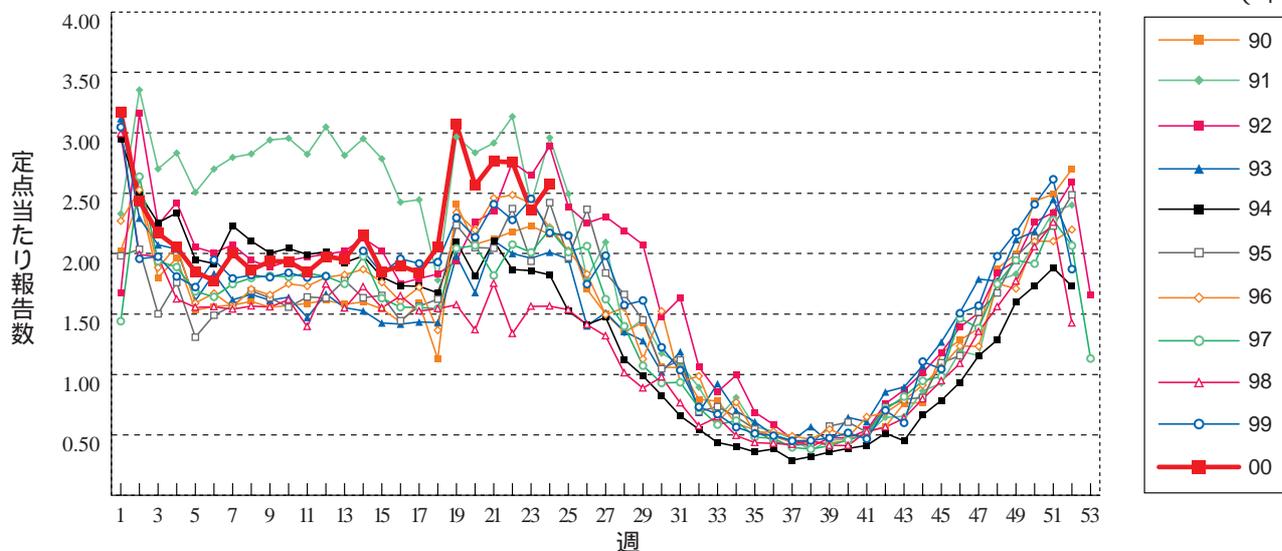
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む

(年)



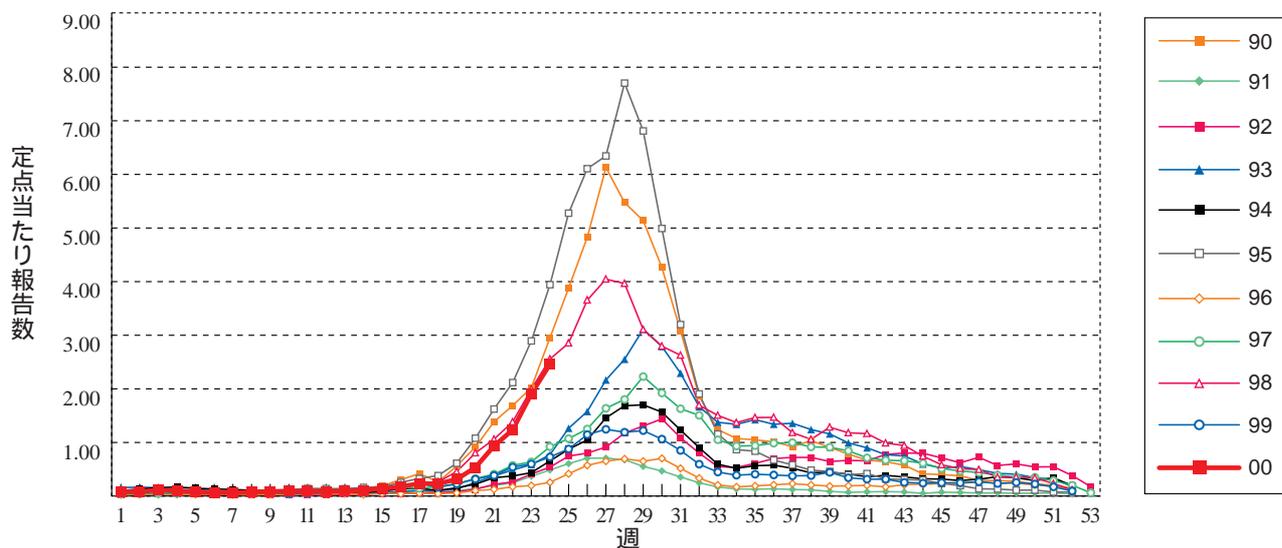
水痘

(年)

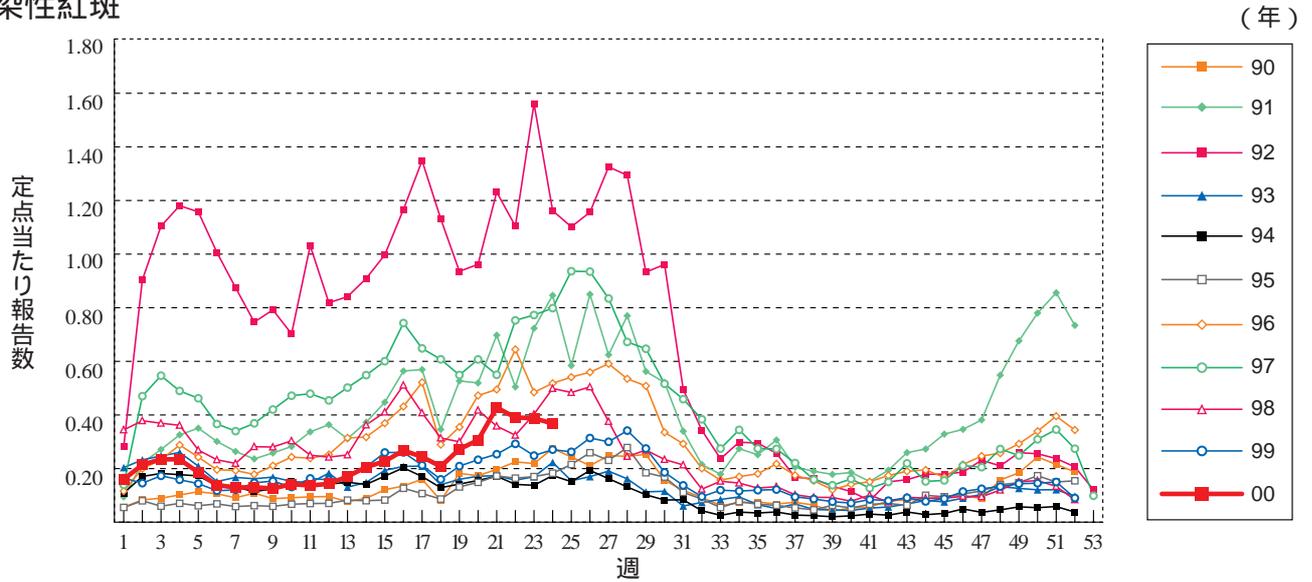


手足口病

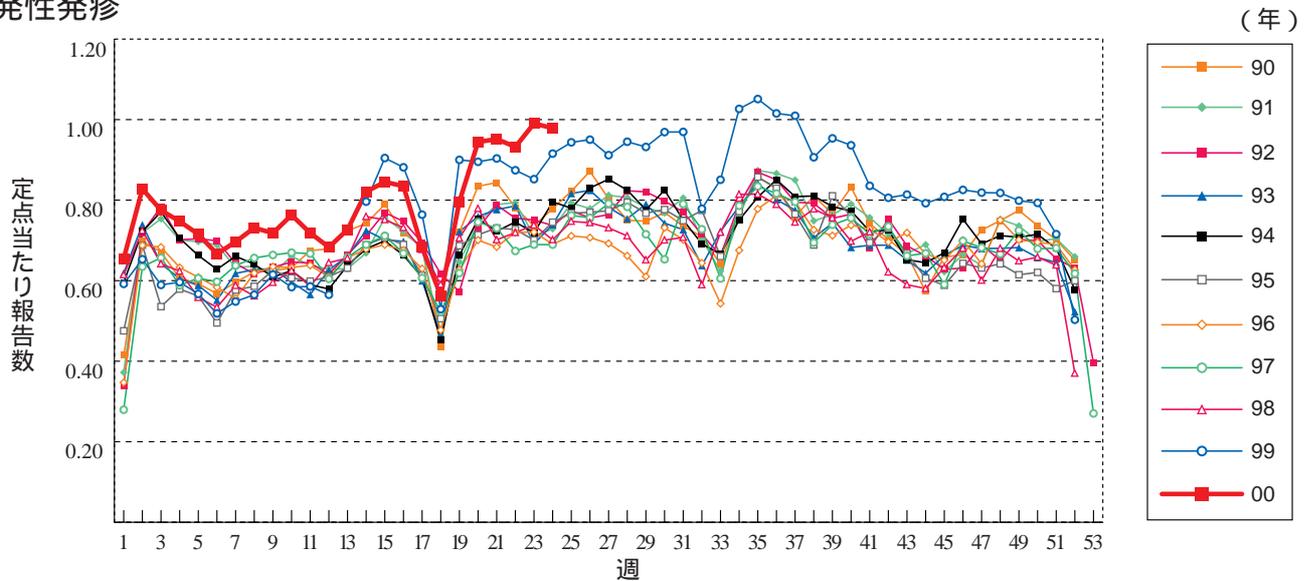
(年)



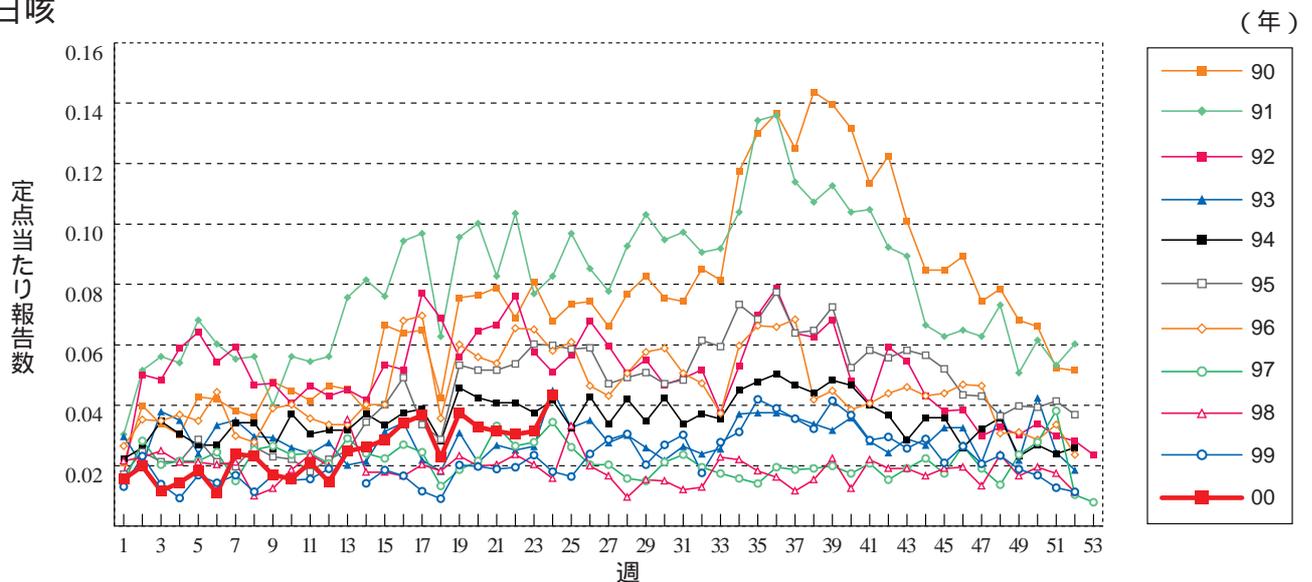
伝染性紅斑



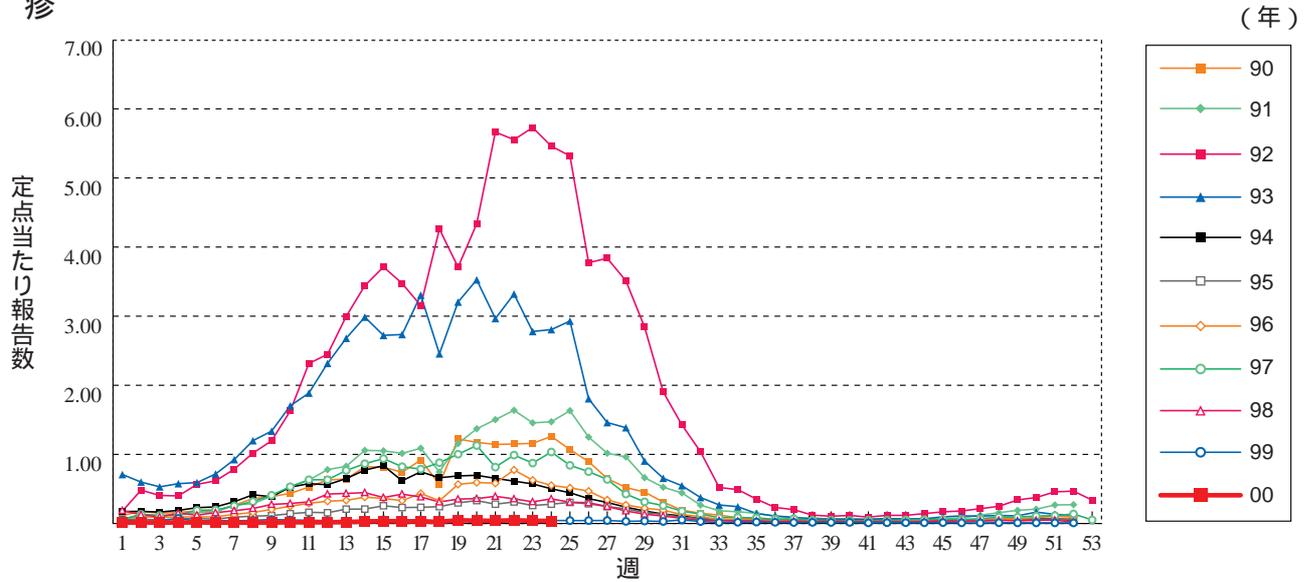
突発性発疹



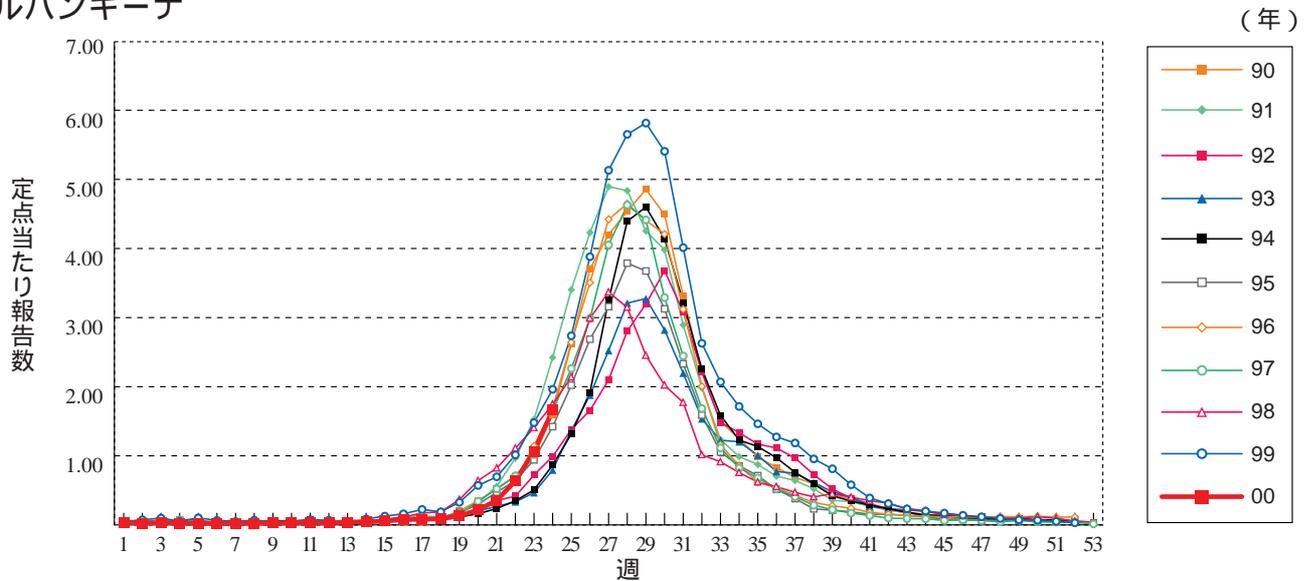
百日咳



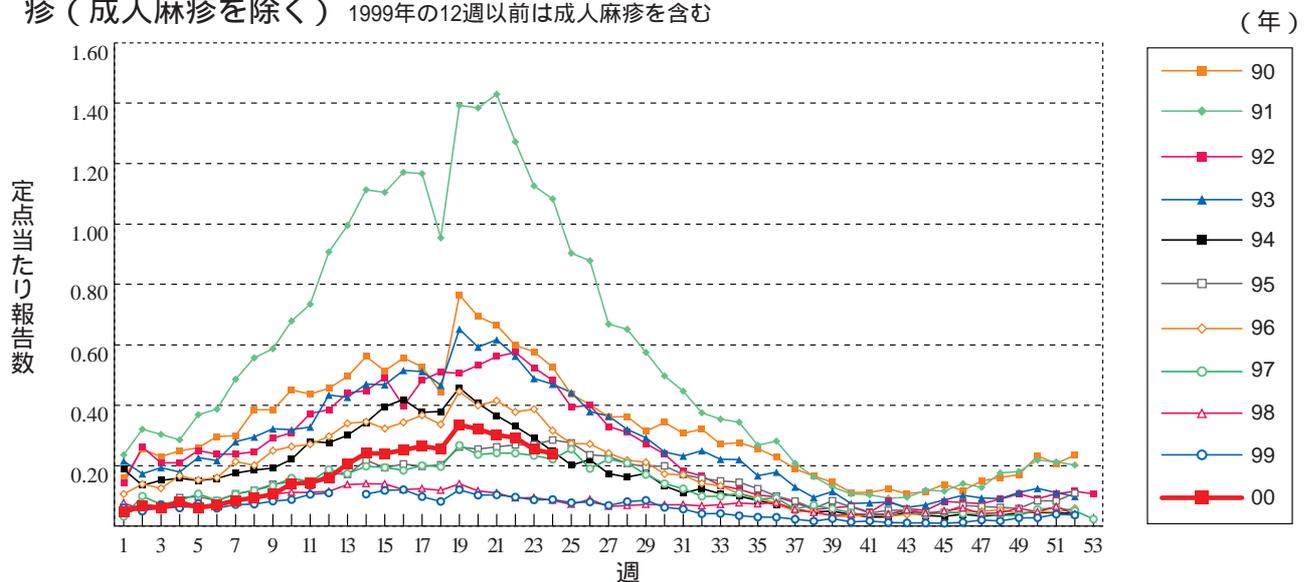
風 疹



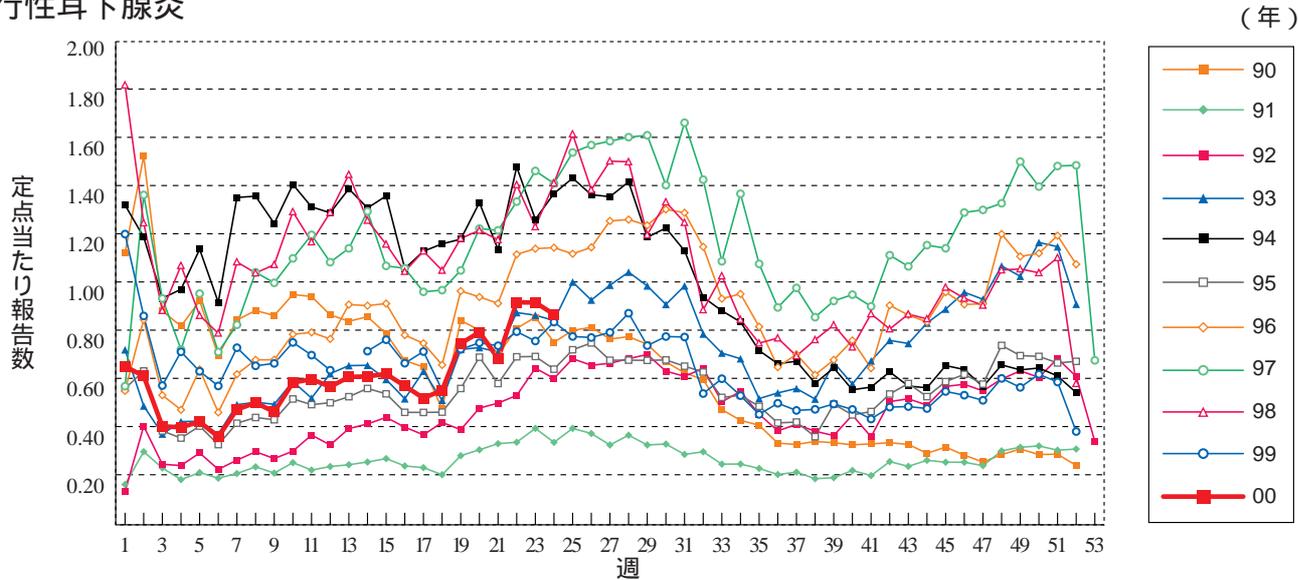
ヘルパンギーナ



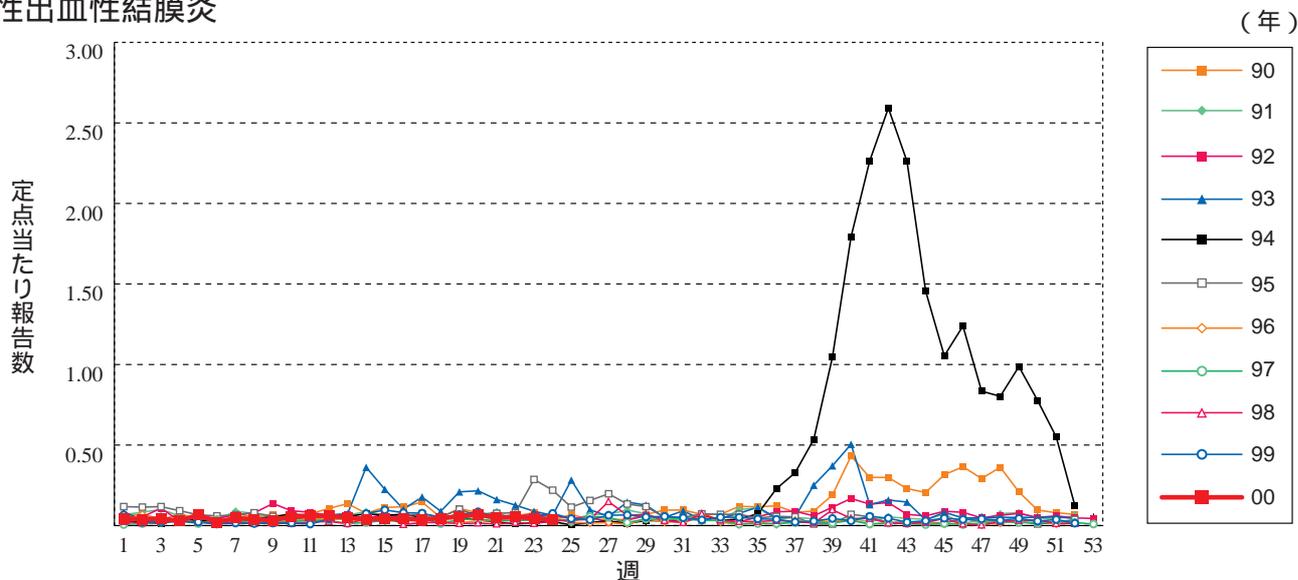
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



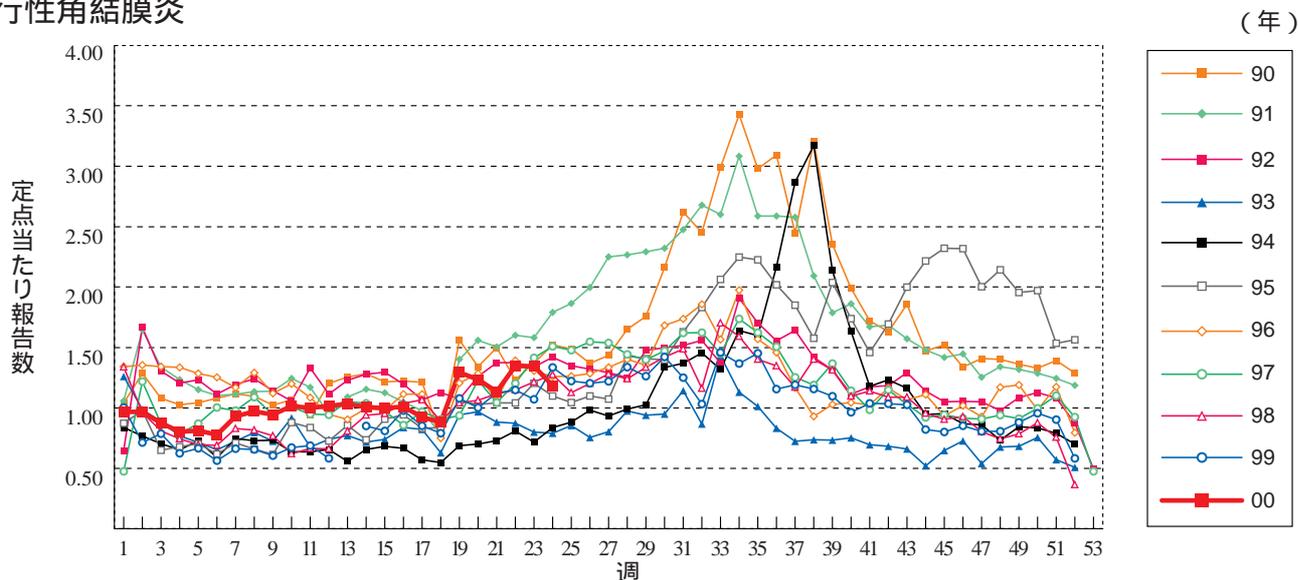
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

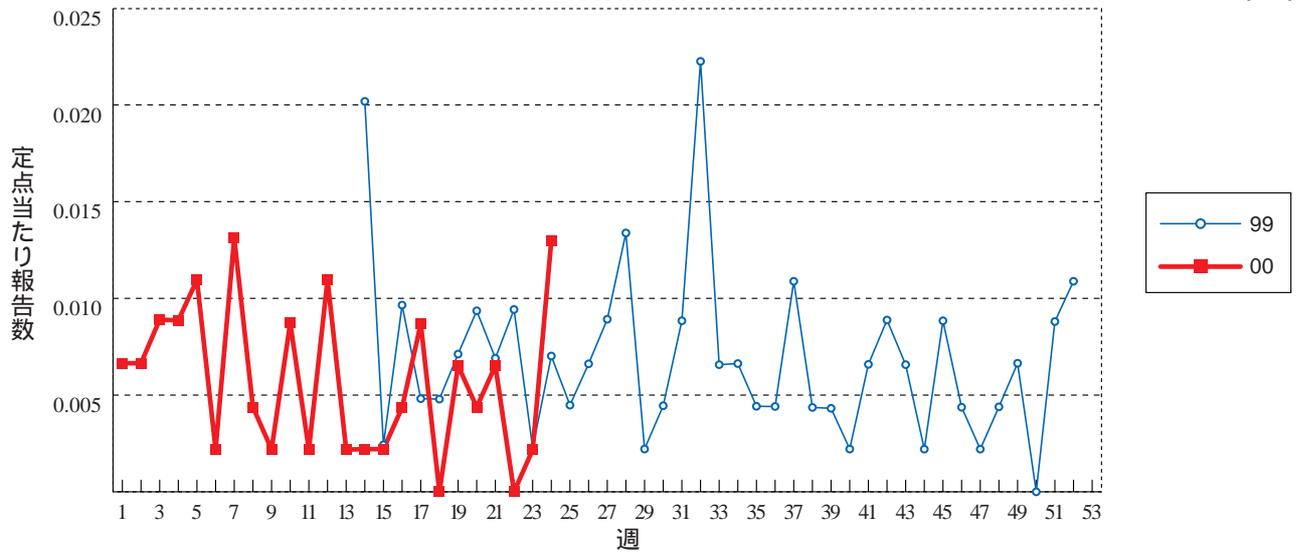


流行性角結膜炎



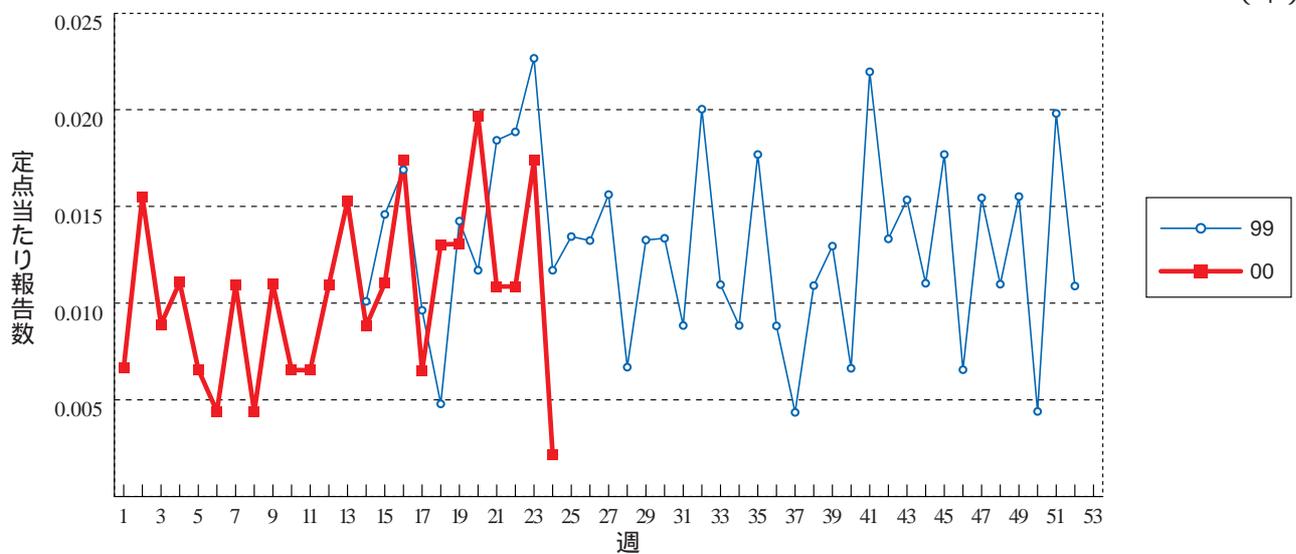
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



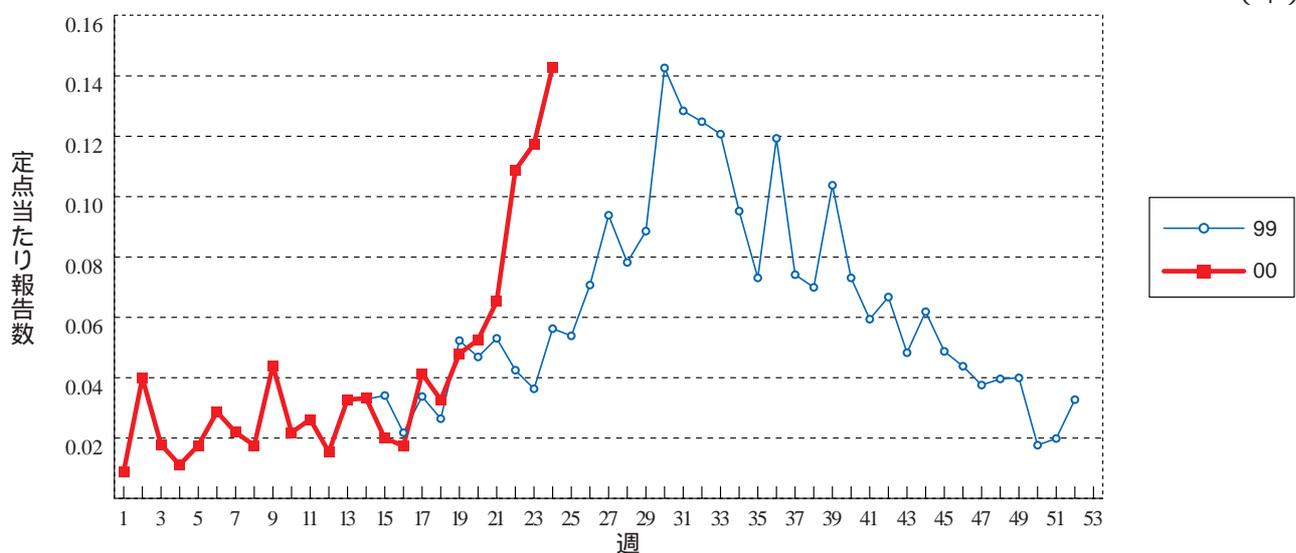
細菌性髄膜炎

(年)



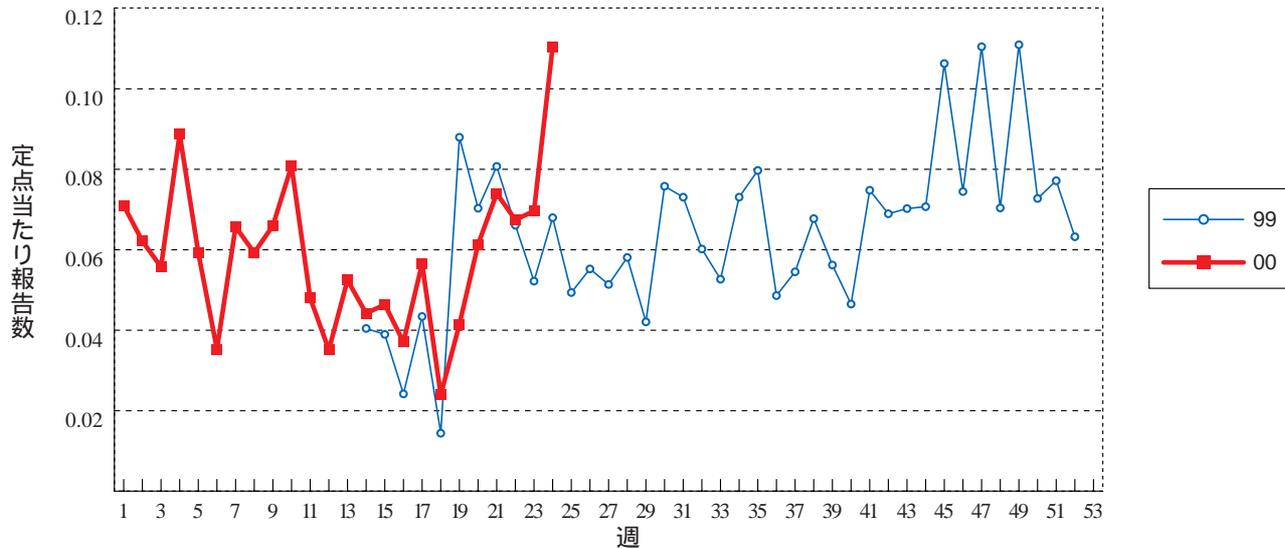
無菌性髄膜炎

(年)



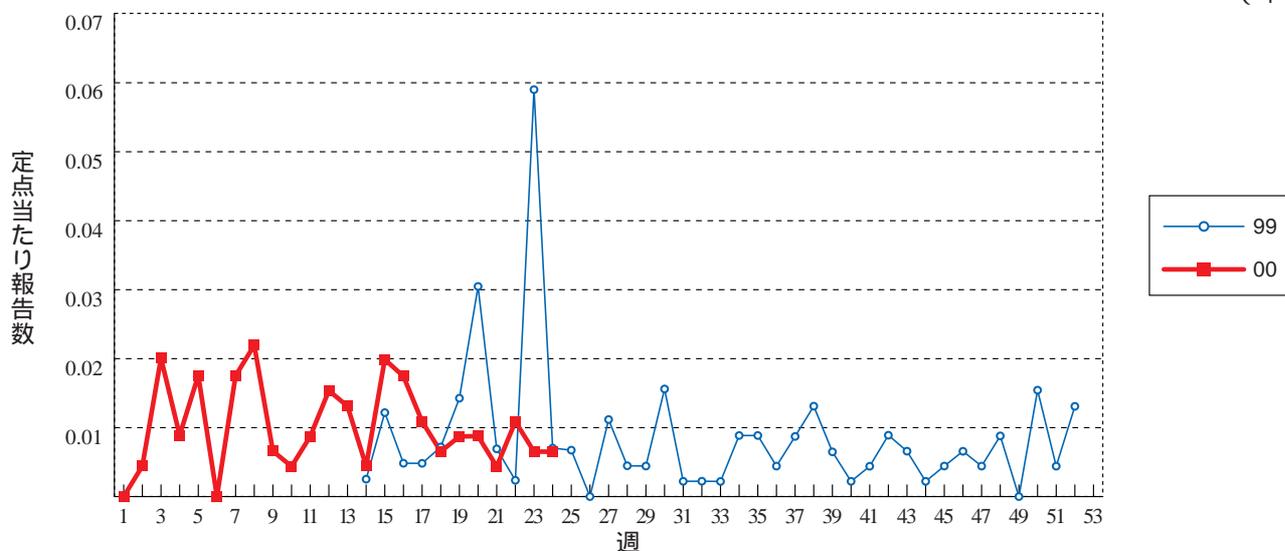
マイコプラズマ肺炎

(年)



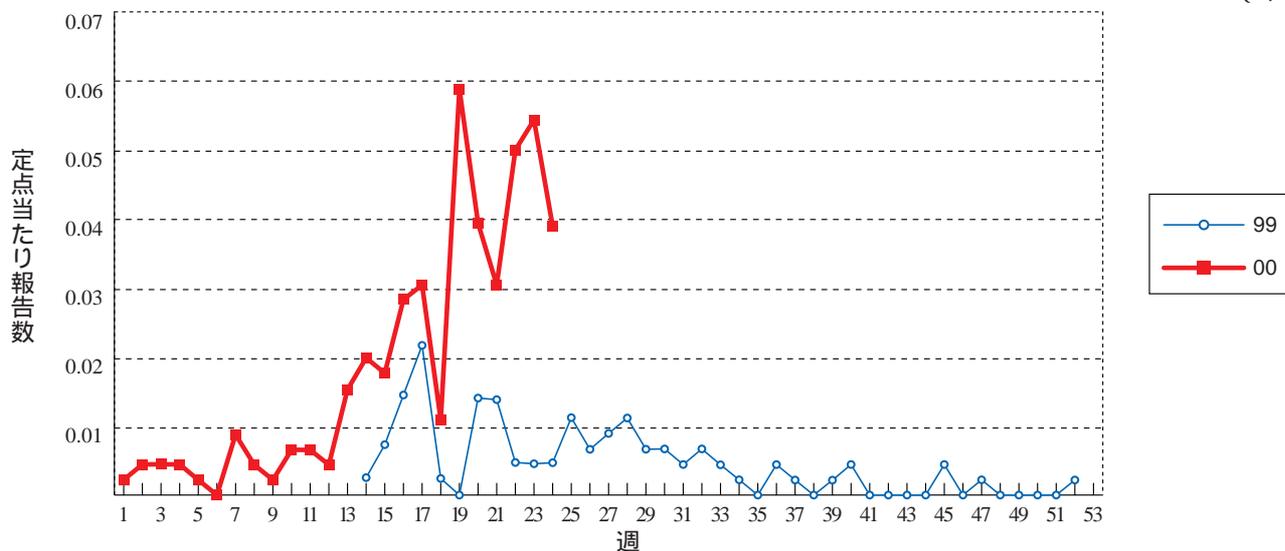
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

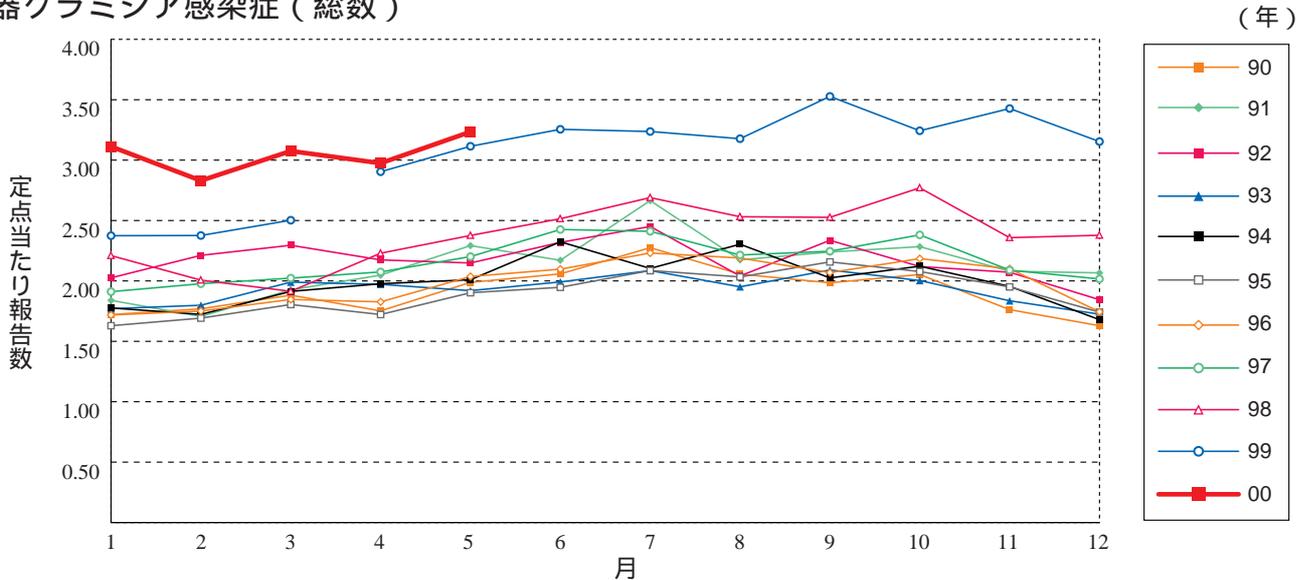




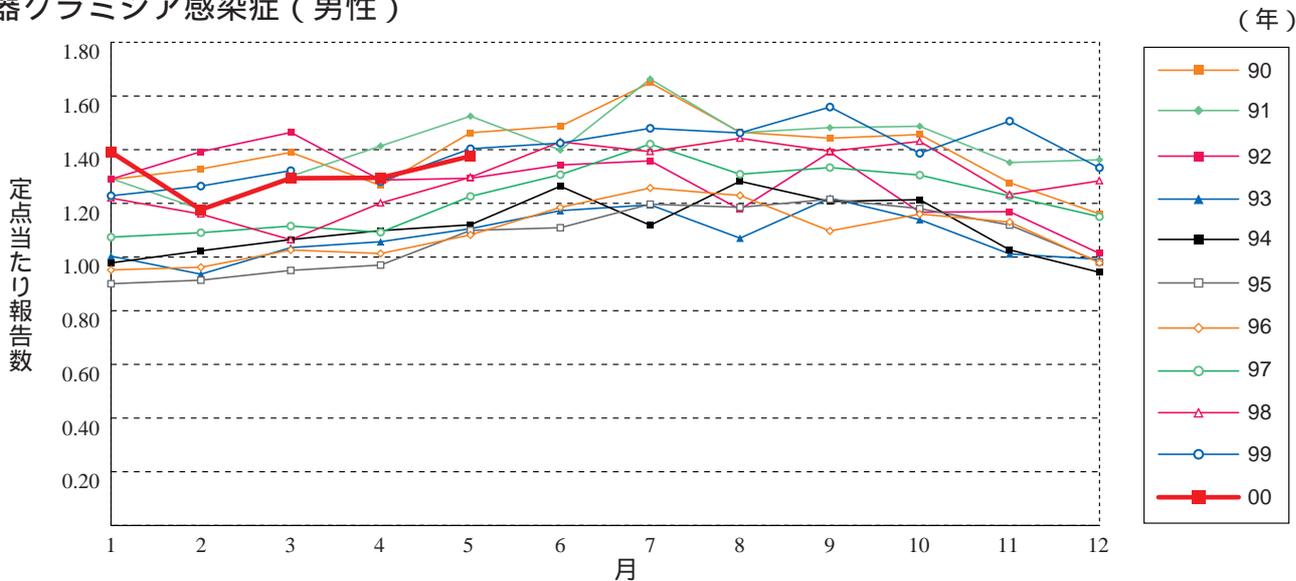
グラフ総覧(5月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

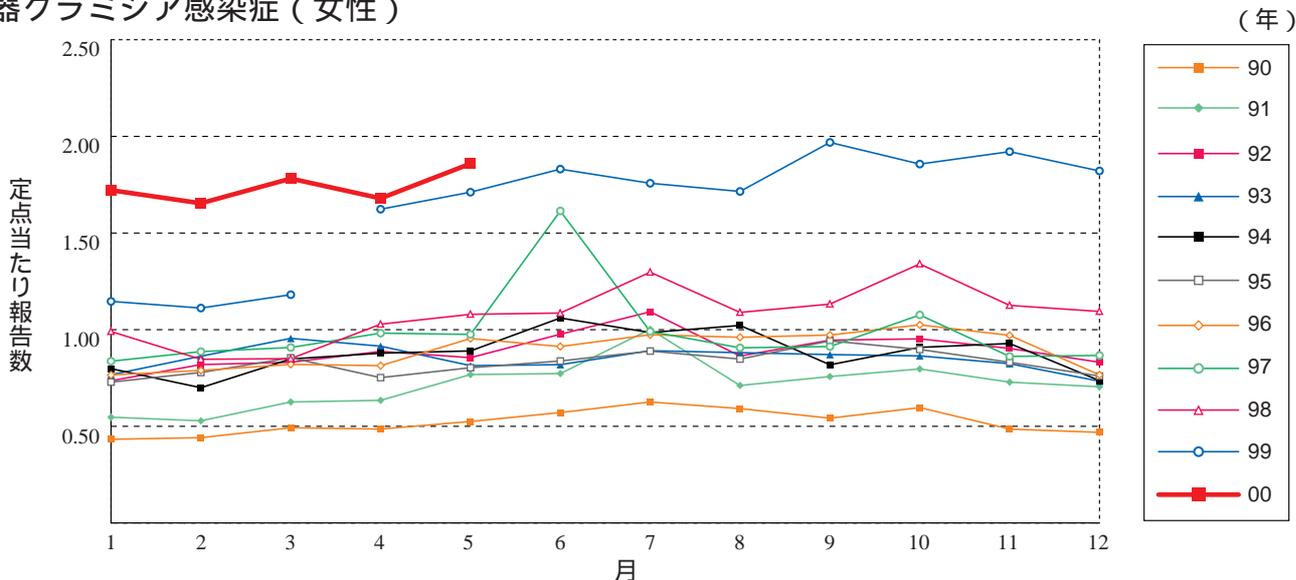
性器クラミジア感染症(総数)



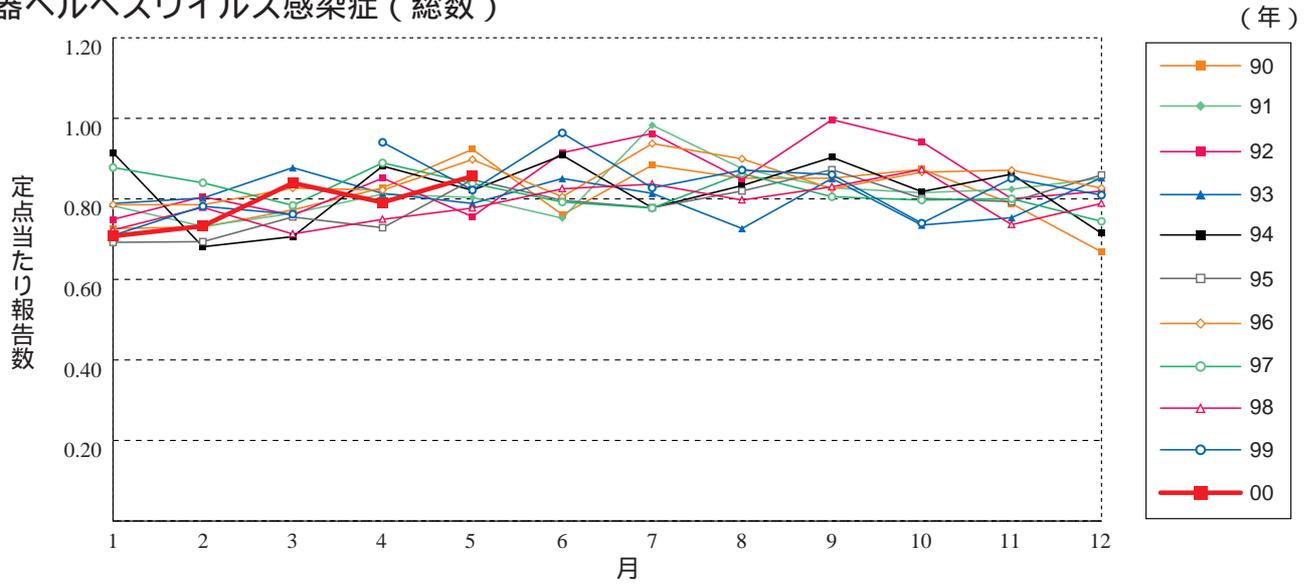
性器クラミジア感染症(男性)



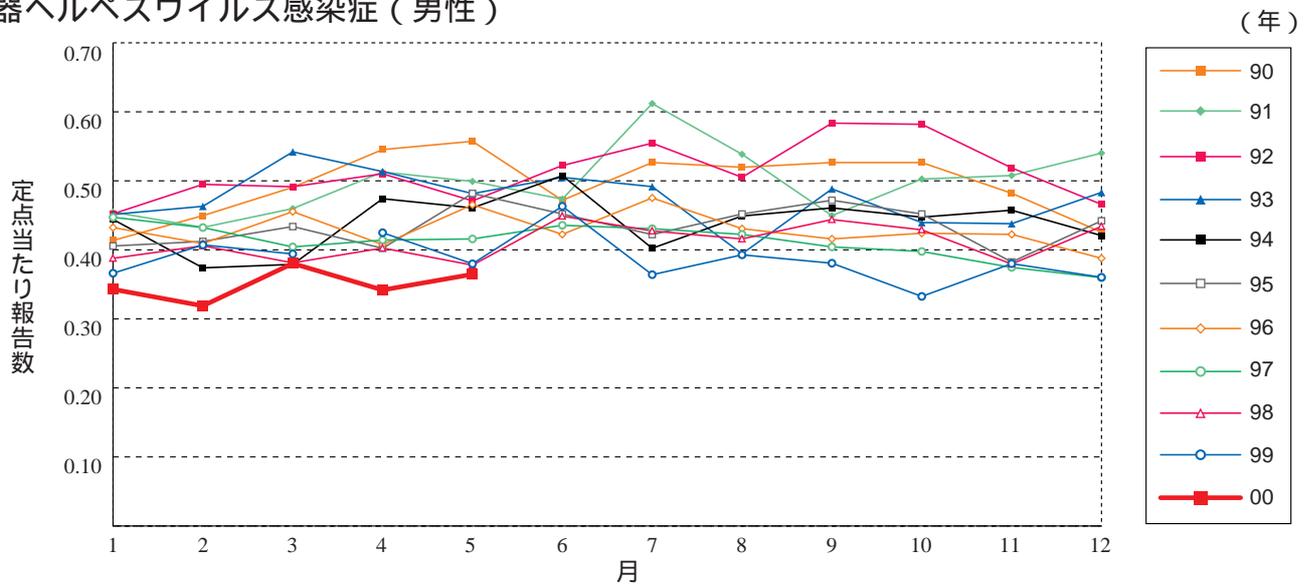
性器クラミジア感染症(女性)



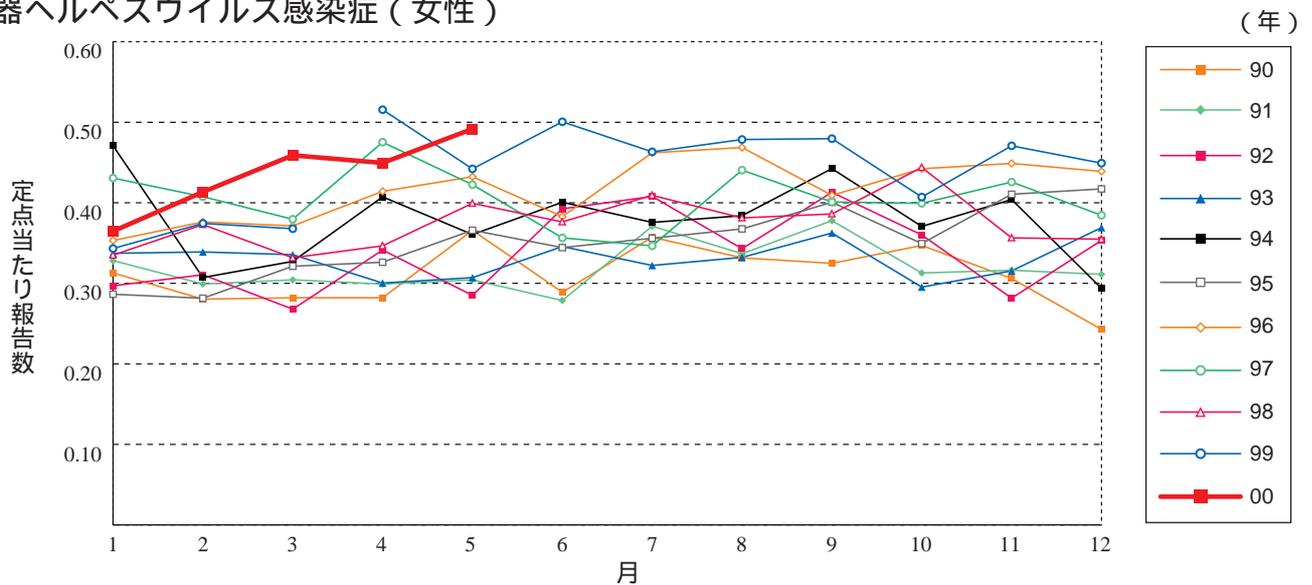
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



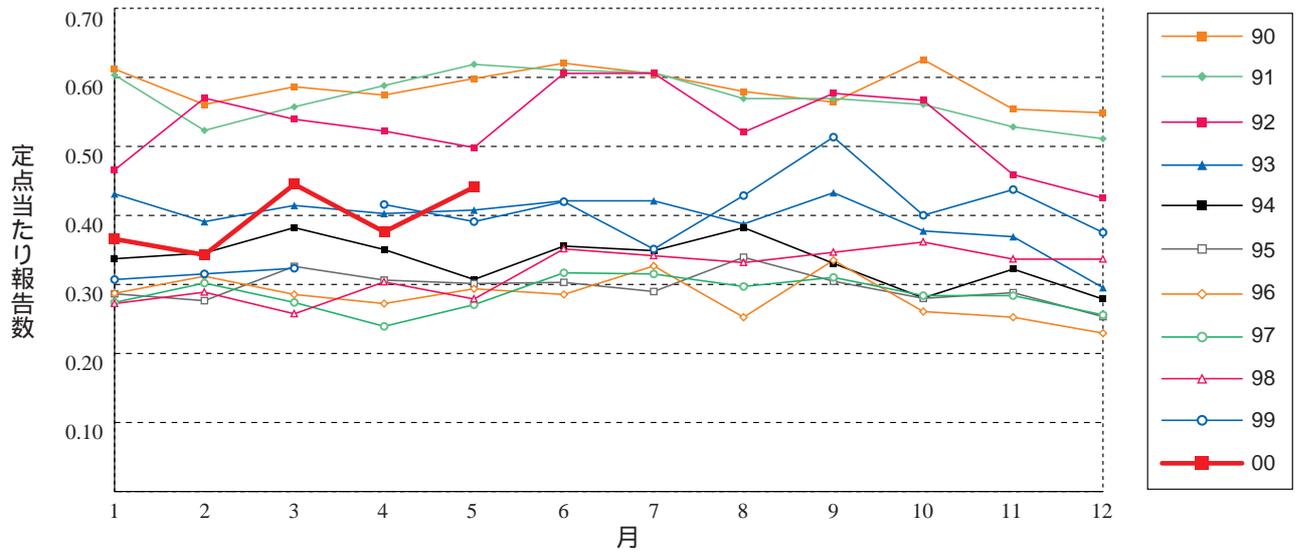
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



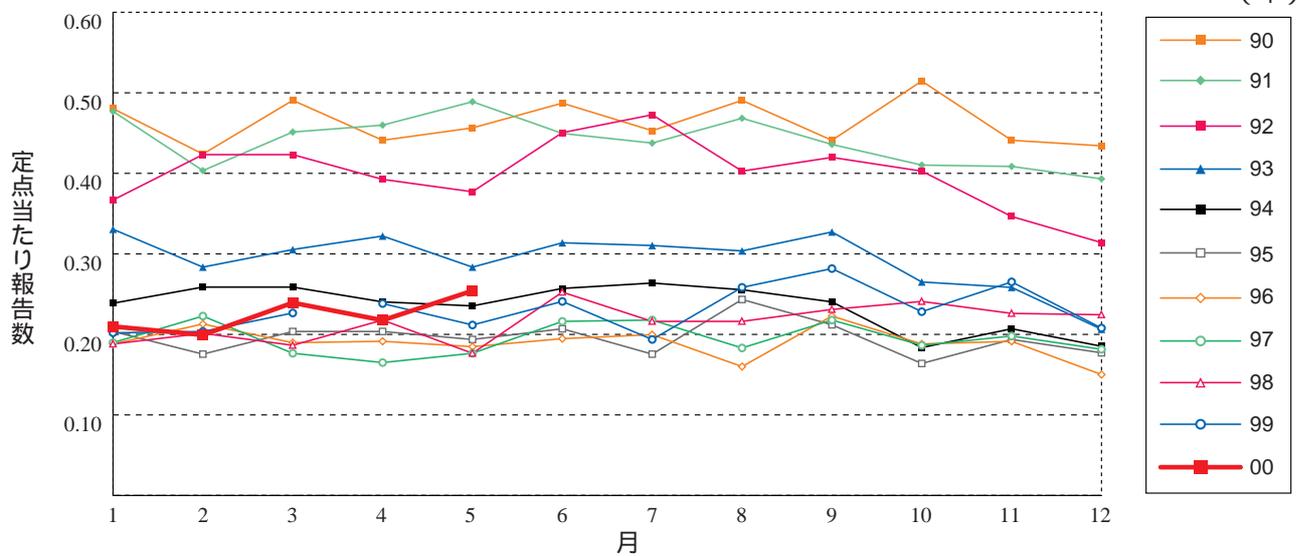
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



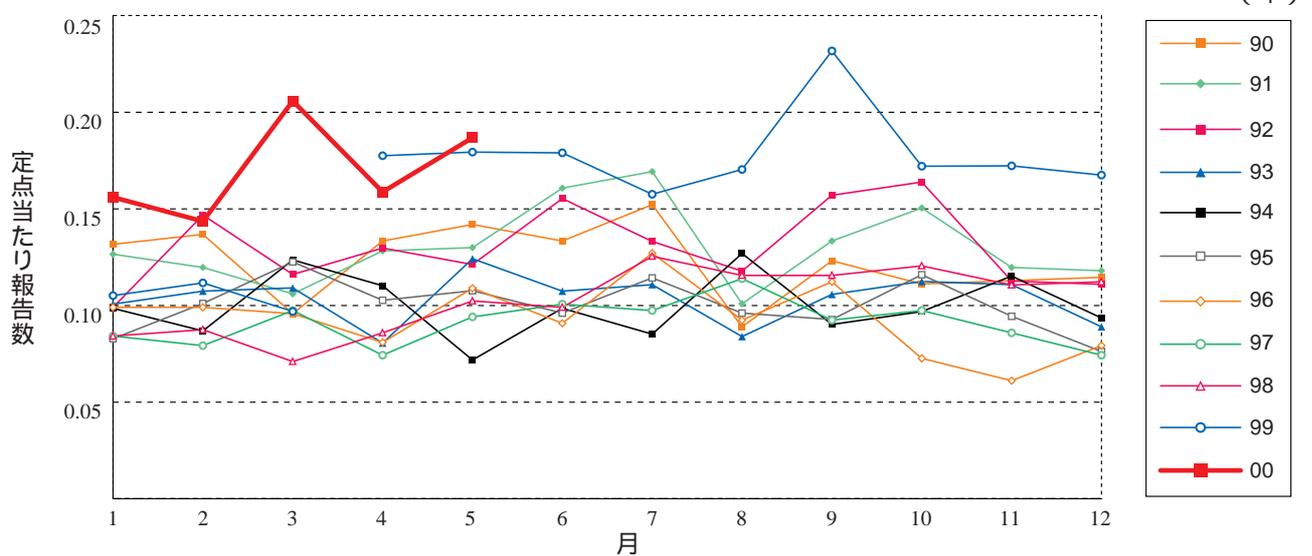
尖形コンジローム (総数)



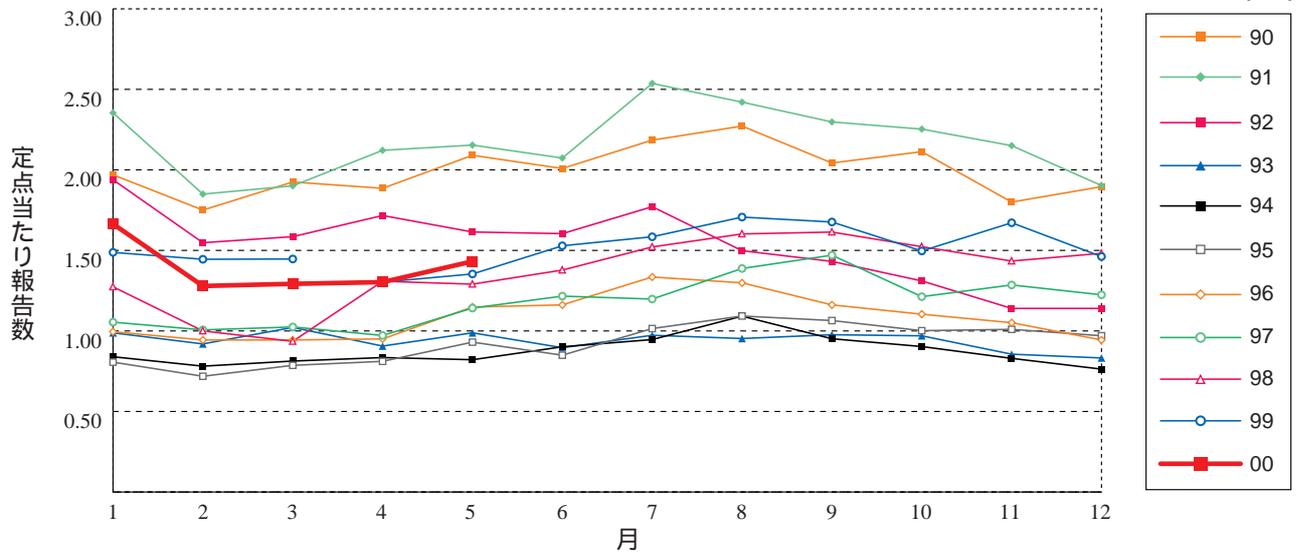
尖形コンジローム (男性)



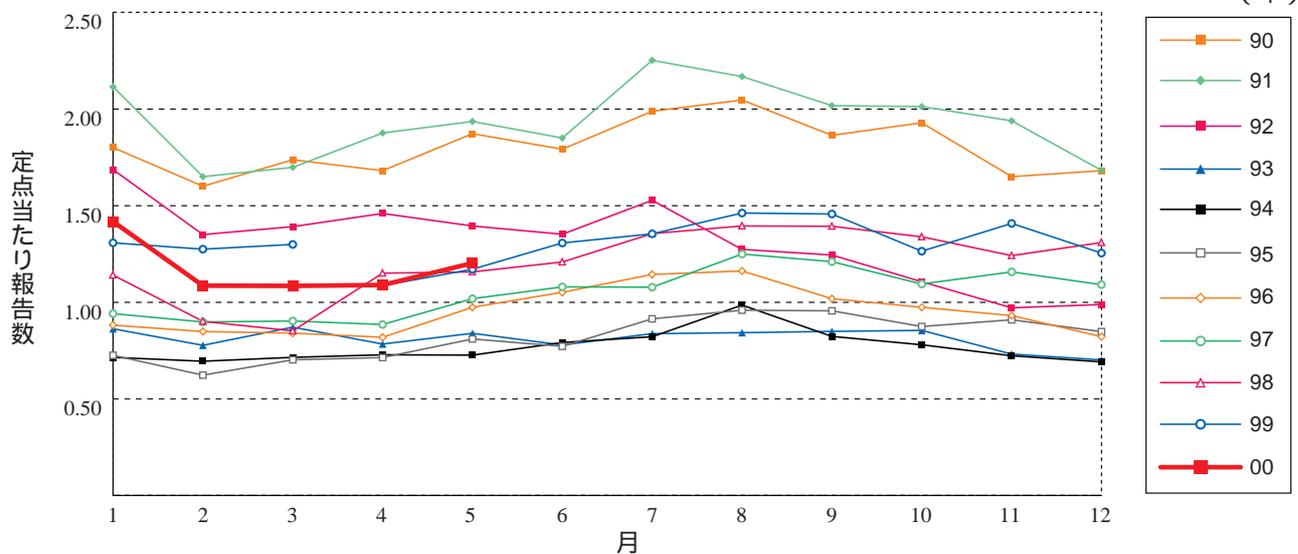
尖形コンジローム (女性)



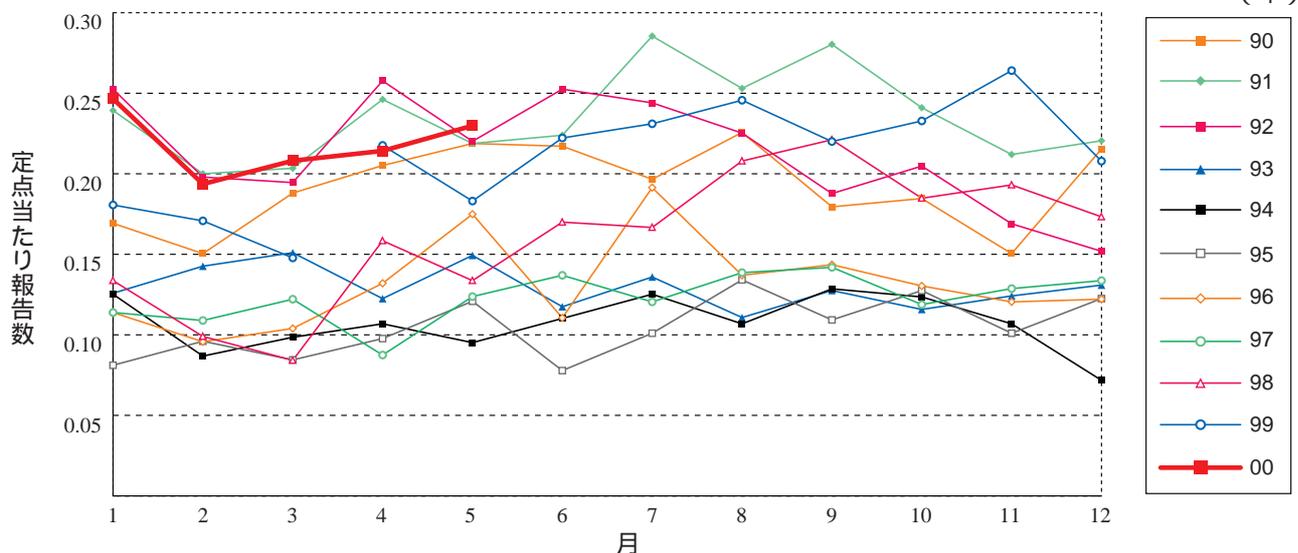
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

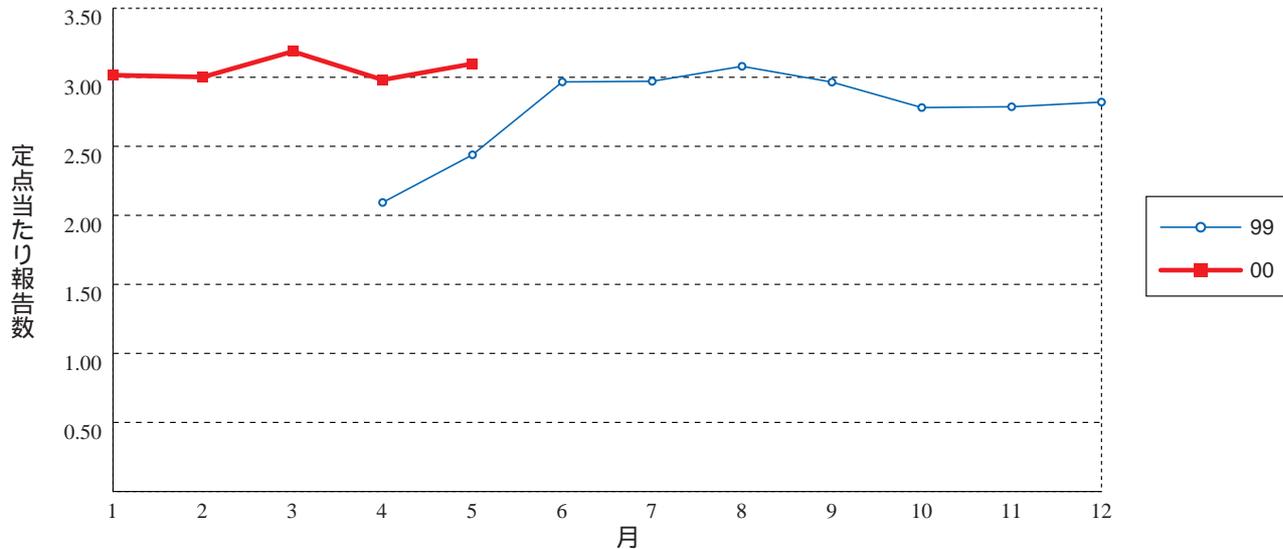


淋菌感染症 (女性)



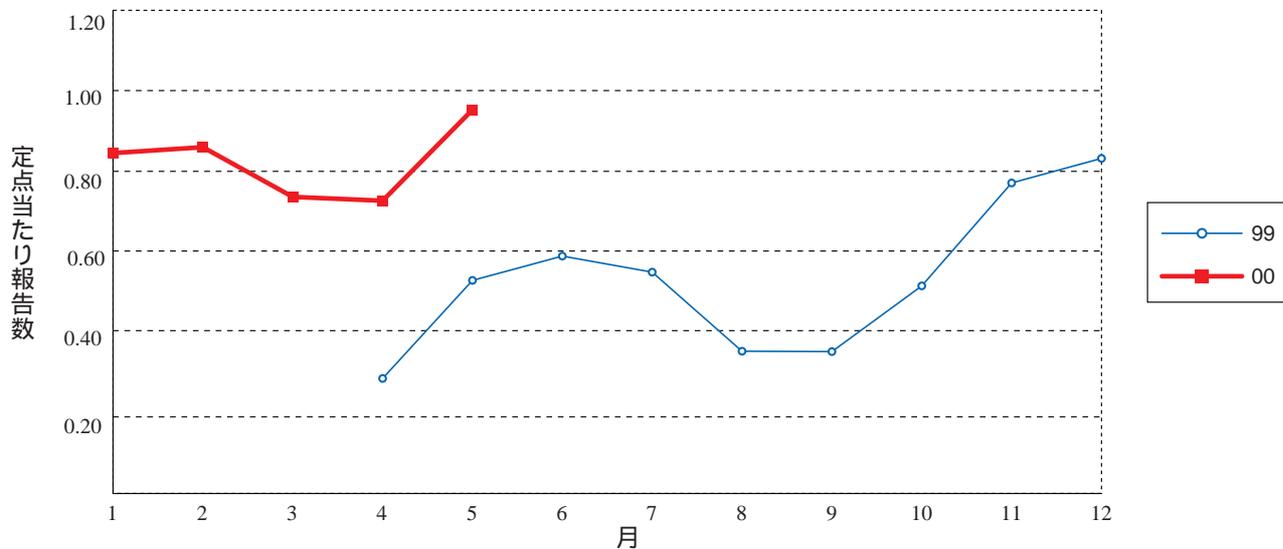
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



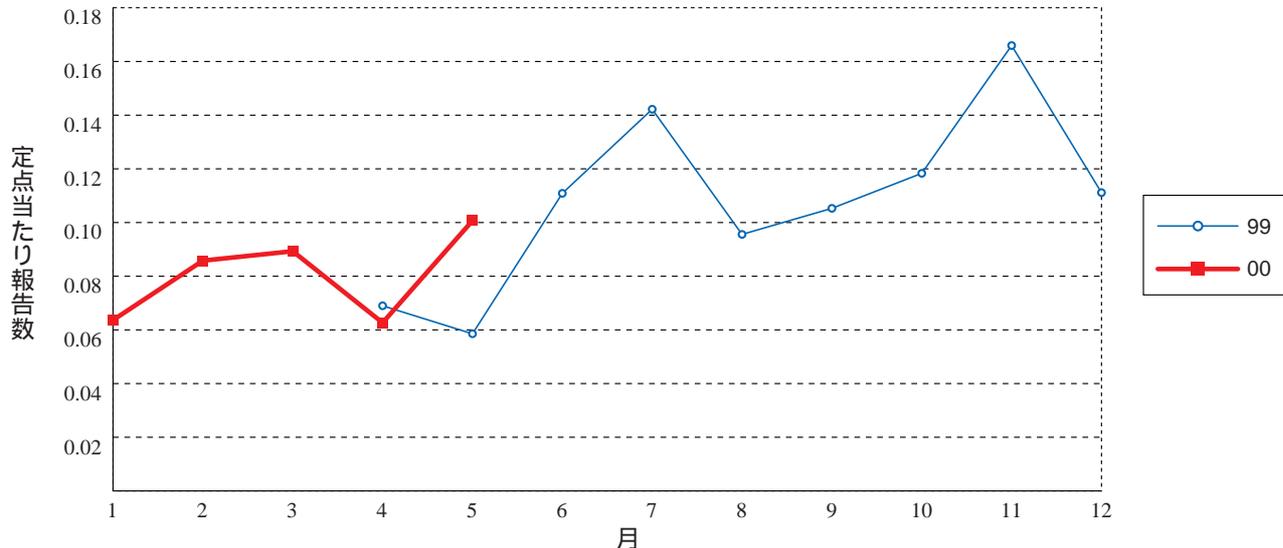
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





5月のデータ

注)表中の報告数は6月12日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成12年5月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2927	3.23	775	0.86	399	0.44	1296	1.43	1385	3.10	426	0.95	45	0.10
北海道	199	4.42	43	0.96	16	0.36	55	1.22	26	1.13	2	0.09	3	0.13
青森県	40	2.86	9	0.64	7	0.50	8	0.57	11	1.83	-	-	-	-
岩手県	45	3.46	9	0.69	11	0.85	10	0.77	63	3.15	2	0.10	-	-
宮城県	74	4.11	17	0.94	11	0.61	13	0.72	52	4.33	41	3.42	-	-
秋田県	24	1.71	3	0.21	4	0.29	3	0.21	10	1.67	5	0.83	-	-
山形県	29	3.22	2	0.22	1	0.11	8	0.89	36	4.50	8	1.00	1	0.13
福島県	35	2.19	5	0.31	9	0.56	6	0.38	12	2.00	-	-	-	-
茨城県	82	3.90	10	0.48	8	0.38	34	1.62	9	0.90	-	-	-	-
栃木県	65	4.33	-	-	3	0.20	19	1.27	22	3.14	2	0.29	1	0.14
群馬県	151	6.04	19	0.76	9	0.36	56	2.24	37	3.70	16	1.60	1	0.10
埼玉県	234	4.59	24	0.47	30	0.59	52	1.02	27	3.00	3	0.33	-	-
千葉県	87	2.23	36	0.92	17	0.44	34	0.87	24	2.67	76	8.44	-	-
東京都	212	5.17	93	2.27	40	0.98	108	2.63	92	4.60	16	0.80	6	0.30
神奈川県	109	1.85	19	0.32	15	0.25	69	1.17	23	2.09	11	1.00	-	-
新潟県	25	1.32	6	0.32	6	0.32	15	0.79	42	3.23	6	0.46	-	-
富山県	24	3.43	5	0.71	7	1.00	1	0.14	32	6.40	10	2.00	-	-
石川県	20	2.00	6	0.60	5	0.50	8	0.80	3	0.60	5	1.00	-	-
福井県	9	1.80	4	0.80	-	-	2	0.40	31	5.17	17	2.83	-	-
山梨県	14	2.33	-	-	-	-	3	0.50	33	3.67	16	1.78	-	-
長野県	41	2.73	9	0.60	8	0.53	12	0.80	14	1.27	15	1.36	-	-
岐阜県	23	1.53	6	0.40	9	0.60	15	1.00	19	3.80	4	0.80	-	-
静岡県	92	3.07	8	0.27	6	0.20	4	0.13	55	5.50	15	1.50	-	-
愛知県	193	3.78	48	0.94	32	0.63	116	2.27	43	3.31	7	0.54	5	0.38
三重県	27	1.80	4	0.27	4	0.27	12	0.80	72	8.00	-	-	-	-
滋賀県	8	0.89	-	-	-	-	3	0.33	20	2.86	1	0.14	-	-
京都府	47	2.04	11	0.48	5	0.22	4	0.17	2	0.33	1	0.17	2	0.33
大阪府	287	4.95	168	2.90	54	0.93	221	3.81	23	2.56	1	0.11	-	-
兵庫県	90	1.96	28	0.61	11	0.24	38	0.83	26	2.00	7	0.54	1	0.08
奈良県	12	1.33	6	0.67	6	0.67	12	1.33	23	4.60	18	3.60	2	0.40
和歌山県	4	0.50	4	0.50	1	0.13	8	1.00	33	3.30	9	0.90	7	0.70
鳥取県	14	2.80	-	-	-	-	3	0.60	15	3.00	1	0.20	-	-
島根県	9	1.80	1	0.20	-	-	7	1.40	46	5.75	17	2.13	-	-
岡山県	91	5.35	11	0.65	4	0.24	40	2.35	16	4.00	1	0.25	-	-
広島県	54	2.08	14	0.54	10	0.38	30	1.15	65	3.10	12	0.57	10	0.48
山口県	20	2.00	6	0.60	1	0.10	13	1.30	29	4.83	15	2.50	2	0.33
徳島県	3	0.50	1	0.17	1	0.17	-	-	11	1.57	-	-	-	-
香川県	24	2.67	6	0.67	6	0.67	8	0.89	41	8.20	3	0.60	-	-
愛媛県	35	3.18	6	0.55	5	0.45	22	2.00	3	0.50	1	0.17	-	-
高知県	10	1.67	2	0.33	-	-	3	0.50	60	8.57	34	4.86	1	0.14
福岡県	117	4.68	17	0.68	6	0.24	95	3.80	2	0.12	-	-	-	-
佐賀県	24	3.43	12	1.71	2	0.29	15	2.14	21	3.50	1	0.17	1	0.17
長崎県	6	0.60	13	1.30	1	0.10	3	0.30	-	-	-	-	-	-
熊本県	96	6.86	43	3.07	10	0.71	57	4.07	46	3.07	-	-	1	0.07
大分県	13	1.30	13	1.30	8	0.80	11	1.10	39	4.33	5	0.56	-	-
宮崎県	52	4.73	13	1.18	2	0.18	8	0.73	19	2.71	3	0.43	1	0.14
鹿児島県	31	1.94	14	0.88	4	0.25	26	1.63	19	1.58	-	-	-	-
沖縄県	26	2.36	1	0.09	4	0.36	6	0.55	38	5.43	19	2.71	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成12年5月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1245	1.38	330	0.36	230	0.25	1088	1.20	894	2.00	239	0.53	27	0.06
北海道	19	0.42	5	0.11	4	0.09	29	0.64	18	0.78	1	0.04	1	0.04
青森県	19	1.36	6	0.43	3	0.21	8	0.57	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	19	1.46	3	0.23	6	0.46	9	0.69	44	2.20	1	0.05	-	-
宮城県	15	0.83	5	0.28	3	0.17	12	0.67	24	2.00	29	2.42	-	-
秋田県	8	0.57	1	0.07	1	0.07	1	0.07	4	0.67	2	0.33	-	-
山形県	12	1.33	-	-	-	-	6	0.67	23	2.88	2	0.25	1	0.13
福島県	17	1.06	2	0.13	5	0.31	6	0.38	12	2.00	-	-	-	-
茨城県	29	1.38	1	0.05	6	0.29	33	1.57	5	0.50	-	-	-	-
栃木県	28	1.87	-	-	3	0.20	14	0.93	11	1.57	2	0.29	-	-
群馬県	85	3.40	12	0.48	3	0.12	42	1.68	20	2.00	7	0.70	1	0.10
埼玉県	78	1.53	7	0.14	18	0.35	44	0.86	18	2.00	2	0.22	-	-
千葉県	28	0.72	18	0.46	6	0.15	29	0.74	17	1.89	40	4.44	-	-
東京都	113	2.76	37	0.90	28	0.68	89	2.17	67	3.35	9	0.45	4	0.20
神奈川県	77	1.31	11	0.19	7	0.12	66	1.12	13	1.18	5	0.45	-	-
新潟県	14	0.74	4	0.21	6	0.32	15	0.79	26	2.00	4	0.31	-	-
富山県	9	1.29	1	0.14	2	0.29	1	0.14	19	3.80	7	1.40	-	-
石川県	12	1.20	5	0.50	4	0.40	8	0.80	3	0.60	2	0.40	-	-
福井県	7	1.40	3	0.60	-	-	2	0.40	15	2.50	13	2.17	-	-
山梨県	2	0.33	-	-	-	-	2	0.33	25	2.78	10	1.11	-	-
長野県	10	0.67	4	0.27	2	0.13	8	0.53	11	1.00	6	0.55	-	-
岐阜県	13	0.87	4	0.27	7	0.47	13	0.87	10	2.00	-	-	-	-
静岡県	37	1.23	3	0.10	3	0.10	4	0.13	40	4.00	7	0.70	-	-
愛知県	128	2.51	31	0.61	26	0.51	111	2.18	27	2.08	5	0.38	3	0.23
三重県	11	0.73	4	0.27	4	0.27	12	0.80	49	5.44	-	-	-	-
滋賀県	1	0.11	-	-	-	-	3	0.33	13	1.86	1	0.14	-	-
京都府	5	0.22	1	0.04	3	0.13	3	0.13	2	0.33	-	-	2	0.33
大阪府	128	2.21	66	1.14	37	0.64	153	2.64	10	1.11	-	-	-	-
兵庫県	44	0.96	11	0.24	6	0.13	37	0.80	18	1.38	5	0.38	1	0.08
奈良県	10	1.11	5	0.56	6	0.67	12	1.33	18	3.60	10	2.00	2	0.40
和歌山県	2	0.25	3	0.38	1	0.13	8	1.00	24	2.40	7	0.70	6	0.60
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-	3	0.60	11	2.20	-	-	-	-
島根県	6	1.20	-	-	-	-	7	1.40	31	3.88	11	1.38	-	-
岡山県	26	1.53	2	0.12	1	0.06	35	2.06	9	2.25	-	-	-	-
広島県	20	0.77	6	0.23	3	0.12	28	1.08	40	1.90	8	0.38	4	0.19
山口県	10	1.00	2	0.20	-	-	12	1.20	22	3.67	5	0.83	-	-
徳島県	2	0.33	1	0.17	-	-	-	-	7	1.00	-	-	-	-
香川県	10	1.11	6	0.67	4	0.44	8	0.89	29	5.80	1	0.20	-	-
愛媛県	14	1.27	5	0.45	5	0.45	22	2.00	3	0.50	1	0.17	-	-
高知県	2	0.33	-	-	-	-	2	0.33	35	5.00	18	2.57	1	0.14
福岡県	69	2.76	12	0.48	4	0.16	89	3.56	1	0.06	-	-	-	-
佐賀県	18	2.57	-	-	1	0.14	15	2.14	11	1.83	-	-	-	-
長崎県	1	0.10	4	0.40	-	-	3	0.30	-	-	-	-	-	-
熊本県	37	2.64	22	1.57	5	0.36	41	2.93	29	1.93	-	-	-	-
大分県	12	1.20	7	0.70	3	0.30	10	1.00	26	2.89	2	0.22	-	-
宮崎県	16	1.45	3	0.27	1	0.09	5	0.45	10	1.43	2	0.29	1	0.14
鹿児島県	18	1.13	7	0.44	2	0.13	25	1.56	11	0.92	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	0.09	3	0.27	27	3.86	14	2.00	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成12年5月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1682	1.86	445	0.49	169	0.19	208	0.23	491	1.10	187	0.42	18	0.04
北海道	180	4.00	38	0.84	12	0.27	26	0.58	8	0.35	1	0.04	2	0.09
青森県	21	1.50	3	0.21	4	0.29	-	-	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	26	2.00	6	0.46	5	0.38	1	0.08	19	0.95	1	0.05	-	-
宮城県	59	3.28	12	0.67	8	0.44	1	0.06	28	2.33	12	1.00	-	-
秋田県	16	1.14	2	0.14	3	0.21	2	0.14	6	1.00	3	0.50	-	-
山形県	17	1.89	2	0.22	1	0.11	2	0.22	13	1.63	6	0.75	-	-
福島県	18	1.13	3	0.19	4	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	53	2.52	9	0.43	2	0.10	1	0.05	4	0.40	-	-	-	-
栃木県	37	2.47	-	-	-	-	5	0.33	11	1.57	-	-	1	0.14
群馬県	66	2.64	7	0.28	6	0.24	14	0.56	17	1.70	9	0.90	-	-
埼玉県	156	3.06	17	0.33	12	0.24	8	0.16	9	1.00	1	0.11	-	-
千葉県	59	1.51	18	0.46	11	0.28	5	0.13	7	0.78	36	4.00	-	-
東京都	99	2.41	56	1.37	12	0.29	19	0.46	25	1.25	7	0.35	2	0.10
神奈川県	32	0.54	8	0.14	8	0.14	3	0.05	10	0.91	6	0.55	-	-
新潟県	11	0.58	2	0.11	-	-	-	-	16	1.23	2	0.15	-	-
富山県	15	2.14	4	0.57	5	0.71	-	-	13	2.60	3	0.60	-	-
石川県	8	0.80	1	0.10	1	0.10	-	-	-	-	3	0.60	-	-
福井県	2	0.40	1	0.20	-	-	-	-	16	2.67	4	0.67	-	-
山梨県	12	2.00	-	-	-	-	1	0.17	8	0.89	6	0.67	-	-
長野県	31	2.07	5	0.33	6	0.40	4	0.27	3	0.27	9	0.82	-	-
岐阜県	10	0.67	2	0.13	2	0.13	2	0.13	9	1.80	4	0.80	-	-
静岡県	55	1.83	5	0.17	3	0.10	-	-	15	1.50	8	0.80	-	-
愛知県	65	1.27	17	0.33	6	0.12	5	0.10	16	1.23	2	0.15	2	0.15
三重県	16	1.07	-	-	-	-	-	-	23	2.56	-	-	-	-
滋賀県	7	0.78	-	-	-	-	-	-	7	1.00	-	-	-	-
京都府	42	1.83	10	0.43	2	0.09	1	0.04	-	-	1	0.17	-	-
大阪府	159	2.74	102	1.76	17	0.29	68	1.17	13	1.44	1	0.11	-	-
兵庫県	46	1.00	17	0.37	5	0.11	1	0.02	8	0.62	2	0.15	-	-
奈良県	2	0.22	1	0.11	-	-	-	-	5	1.00	8	1.60	-	-
和歌山県	2	0.25	1	0.13	-	-	-	-	9	0.90	2	0.20	1	0.10
鳥取県	10	2.00	-	-	-	-	-	-	4	0.80	1	0.20	-	-
島根県	3	0.60	1	0.20	-	-	-	-	15	1.88	6	0.75	-	-
岡山県	65	3.82	9	0.53	3	0.18	5	0.29	7	1.75	1	0.25	-	-
広島県	34	1.31	8	0.31	7	0.27	2	0.08	25	1.19	4	0.19	6	0.29
山口県	10	1.00	4	0.40	1	0.10	1	0.10	7	1.17	10	1.67	2	0.33
徳島県	1	0.17	-	-	1	0.17	-	-	4	0.57	-	-	-	-
香川県	14	1.56	-	-	2	0.22	-	-	12	2.40	2	0.40	-	-
愛媛県	21	1.91	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	8	1.33	2	0.33	-	-	1	0.17	25	3.57	16	2.29	-	-
福岡県	48	1.92	5	0.20	2	0.08	6	0.24	1	0.06	-	-	-	-
佐賀県	6	0.86	12	1.71	1	0.14	-	-	10	1.67	1	0.17	1	0.17
長崎県	5	0.50	9	0.90	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	59	4.21	21	1.50	5	0.36	16	1.14	17	1.13	-	-	1	0.07
大分県	1	0.10	6	0.60	5	0.50	1	0.10	13	1.44	3	0.33	-	-
宮崎県	36	3.27	10	0.91	1	0.09	3	0.27	9	1.29	1	0.14	-	-
鹿児島県	13	0.81	7	0.44	2	0.13	1	0.06	8	0.67	-	-	-	-
沖縄県	26	2.36	1	0.09	3	0.27	3	0.27	11	1.57	5	0.71	-	-



24週のデータ

注)表中の報告数は6月23日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年24週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	10	337	1	51	1	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	2	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	64	-	8	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	23	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	1	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	28	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	12	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	32	-	4	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年24週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	63	595	12	155	-	6	-	-	-	7	-	-	8	496
北海道	-	-	-	-	2	23	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	1	8
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
秋田県	-	-	-	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	3	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
埼玉県	-	-	-	-	2	12	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	1	18	1	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
東京都	-	-	-	-	12	51	3	45	-	-	-	-	-	2	-	-	2	59
神奈川県	-	-	-	-	1	26	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
福井県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
長野県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
静岡県	-	-	-	-	1	11	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
愛知県	-	-	-	-	4	34	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
三重県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	1	10	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
大阪府	-	-	-	-	3	53	3	29	-	-	-	-	-	1	-	-	-	54
兵庫県	-	-	-	-	3	37	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58
奈良県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
和歌山県	-	-	-	-	-	17	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	3	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
広島県	-	-	-	-	4	15	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
山口県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
高知県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福岡県	-	-	-	-	1	51	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
佐賀県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
鹿児島県	-	-	-	-	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
沖縄県	-	-	-	-	3	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年24週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	6	-	-	-	2	2	44	-	25	10	302	-	1	4	48	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	21	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	8	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	1	18	-	-	-	4	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-	20	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	5	-	2	6	118	-	1	1	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	21	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	6	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	17	-	-	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	1	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年24週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	-	-	-	10	176	-	4	1	6	-	-	-	-	6	343
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	4	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
千葉県	-	2	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	49
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
新潟県	-	-	-	-	-	-	3	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	71
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	1	1	-	-	-	-	-	20
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年24週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	34	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	2	86	-	3	-	67
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
東京都	2	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	37	-	-	-	5
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
兵庫県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年24週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	110	0.02	491	0.16	5256	1.75	12705	4.24	7707	2.57	7358	2.46	1101	0.37	2932	0.98	130	0.04
北海道	6	0.03	15	0.10	230	1.59	393	2.71	349	2.41	145	1.00	86	0.59	106	0.73	1	0.01
青森県	5	0.08	-	-	20	0.49	67	1.63	129	3.15	9	0.22	19	0.46	25	0.61	1	0.02
岩手県	3	0.05	1	0.03	79	2.08	79	2.08	92	2.42	3	0.08	22	0.58	22	0.58	-	-
宮城県	22	0.23	6	0.10	165	2.80	409	6.93	187	3.17	20	0.34	51	0.86	58	0.98	5	0.08
秋田県	3	0.05	4	0.11	55	1.57	200	5.71	78	2.23	5	0.14	2	0.06	20	0.57	-	-
山形県	-	-	2	0.07	82	2.83	141	4.86	88	3.03	105	3.62	36	1.24	30	1.03	-	-
福島県	-	-	3	0.06	59	1.23	250	5.21	101	2.10	8	0.17	19	0.40	36	0.75	4	0.08
茨城県	5	0.05	1	0.01	110	1.53	237	3.29	121	1.68	66	0.92	29	0.40	46	0.64	1	0.01
栃木県	2	0.03	1	0.02	99	2.20	113	2.51	94	2.09	262	5.82	3	0.07	56	1.24	1	0.02
群馬県	-	-	4	0.06	132	2.13	184	2.97	189	3.05	631	10.18	15	0.24	44	0.71	1	0.02
埼玉県	3	0.01	31	0.19	494	3.09	743	4.64	358	2.24	535	3.34	78	0.49	190	1.19	-	-
千葉県	5	0.02	29	0.22	307	2.29	441	3.29	333	2.49	145	1.08	80	0.60	128	0.96	4	0.03
東京都	1	0.01	13	0.09	113	0.80	399	2.81	176	1.24	142	1.00	39	0.27	83	0.58	1	0.01
神奈川県	21	0.07	53	0.26	325	1.58	648	3.15	458	2.22	386	1.87	154	0.75	217	1.05	2	0.01
新潟県	-	-	6	0.10	189	3.15	293	4.88	285	4.75	19	0.32	37	0.62	60	1.00	6	0.10
富山県	2	0.04	-	-	35	1.21	177	6.10	55	1.90	9	0.31	2	0.07	35	1.21	-	-
石川県	-	-	10	0.34	41	1.41	214	7.38	78	2.69	28	0.97	4	0.14	23	0.79	1	0.03
福井県	-	-	-	-	98	4.45	190	8.64	76	3.45	17	0.77	2	0.09	24	1.09	2	0.09
山梨県	8	0.20	1	0.04	63	2.52	65	2.60	67	2.68	4	0.16	6	0.24	9	0.36	-	-
長野県	-	-	7	0.14	98	1.92	302	5.92	189	3.71	23	0.45	40	0.78	64	1.25	2	0.04
岐阜県	3	0.04	4	0.08	86	1.62	145	2.74	131	2.47	23	0.43	3	0.06	51	0.96	3	0.06
静岡県	-	-	21	0.24	177	2.06	406	4.72	242	2.81	85	0.99	14	0.16	100	1.16	7	0.08
愛知県	1	0.01	10	0.05	323	1.77	750	4.12	487	2.68	84	0.46	84	0.46	180	0.99	5	0.03
三重県	-	-	1	0.02	68	1.51	310	6.89	98	2.18	49	1.09	3	0.07	68	1.51	-	-
滋賀県	-	-	2	0.06	45	1.41	107	3.34	50	1.56	40	1.25	-	-	24	0.75	-	-
京都府	4	0.03	2	0.03	64	0.84	397	5.22	184	2.42	74	0.97	10	0.13	64	0.84	3	0.04
大阪府	1	0.00	31	0.16	250	1.32	616	3.26	420	2.22	663	3.51	49	0.26	167	0.88	22	0.12
兵庫県	-	-	56	0.44	230	1.80	852	6.66	389	3.04	262	2.05	31	0.24	151	1.18	7	0.05
奈良県	-	-	4	0.11	47	1.34	158	4.51	64	1.83	317	9.06	3	0.09	33	0.94	-	-
和歌山県	1	0.02	20	0.65	31	1.00	112	3.61	71	2.29	191	6.16	6	0.19	27	0.87	-	-
鳥取県	-	-	4	0.21	139	7.32	143	7.53	55	2.89	30	1.58	4	0.21	22	1.16	-	-
島根県	-	-	-	-	11	0.48	87	3.78	41	1.78	2	0.09	-	-	12	0.52	1	0.04
岡山県	-	-	26	0.48	91	1.69	240	4.44	88	1.63	16	0.30	15	0.28	47	0.87	7	0.13
広島県	-	-	27	0.36	92	1.23	332	4.43	185	2.47	76	1.01	17	0.23	72	0.96	9	0.12
山口県	-	-	13	0.27	87	1.78	288	5.88	241	4.92	77	1.57	4	0.08	64	1.31	-	-
徳島県	-	-	10	0.43	11	0.48	70	3.04	71	3.09	53	2.30	1	0.04	15	0.65	-	-
香川県	-	-	1	0.03	46	1.44	138	4.31	63	1.97	4	0.13	15	0.47	38	1.19	1	0.03
愛媛県	-	-	28	0.72	58	1.49	282	7.23	112	2.87	124	3.18	6	0.15	44	1.13	-	-
高知県	-	-	2	0.06	35	1.13	120	3.87	75	2.42	7	0.23	3	0.10	30	0.97	2	0.06
福岡県	1	0.01	3	0.04	113	1.43	480	6.08	319	4.04	645	8.16	20	0.25	90	1.14	9	0.11
佐賀県	-	-	-	-	41	1.78	60	2.61	76	3.30	372	16.17	13	0.57	45	1.96	1	0.04
長崎県	-	-	8	0.18	21	0.48	70	1.59	85	1.93	183	4.16	11	0.25	36	0.82	5	0.11
熊本県	-	-	12	0.24	62	1.27	169	3.45	239	4.88	817	16.67	14	0.29	82	1.67	6	0.12
大分県	-	-	3	0.08	66	1.83	237	6.58	189	5.25	84	2.33	34	0.94	52	1.44	4	0.11
宮崎県	-	-	2	0.05	167	4.51	283	7.65	77	2.08	39	1.05	11	0.30	47	1.27	3	0.08
鹿児島県	13	0.13	10	0.17	69	1.15	289	4.82	126	2.10	465	7.75	5	0.08	73	1.22	3	0.05
沖縄県	-	-	4	0.12	32	0.94	19	0.56	26	0.76	14	0.41	1	0.03	22	0.65	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年24週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	110	0.04	4984	1.66	719	0.24	2610	0.87	25	0.04	744	1.18	6	0.01	1	0.00	66	0.14
北海道	2	0.01	37	0.26	30	0.21	100	0.69	-	-	16	0.55	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	102	2.49	6	0.15	64	1.56	1	0.09	6	0.55	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	84	2.21	4	0.11	23	0.61	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	139	2.36	23	0.39	11	0.19	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	50	1.43	-	-	13	0.37	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	3	0.10	-	-	11	0.38	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.04	121	2.52	2	0.04	12	0.25	-	-	20	1.67	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	120	1.67	31	0.43	28	0.39	3	0.19	56	3.50	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	71	1.58	31	0.69	9	0.20	-	-	23	1.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	225	3.63	2	0.03	147	2.37	1	0.07	16	1.14	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	12	0.08	472	2.95	23	0.14	252	1.58	-	-	55	1.53	-	-	-	-	-	-
千葉県	10	0.07	535	3.99	58	0.43	142	1.06	2	0.06	56	1.60	-	-	-	-	1	0.08
東京都	7	0.05	233	1.64	24	0.17	88	0.62	-	-	22	1.57	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	7	0.03	307	1.49	27	0.13	233	1.13	2	0.05	78	1.86	1	0.09	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	93	1.55	1	0.02	39	0.65	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	23	0.79	1	0.03	6	0.21	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	31	1.07	1	0.03	4	0.14	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	55	2.50	1	0.05	6	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	5	0.20	2	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	42	0.82	1	0.02	32	0.63	-	-	16	1.60	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	60	1.13	20	0.38	32	0.60	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	204	2.37	6	0.07	165	1.92	-	-	23	1.10	-	-	-	-	2	0.22
愛知県	4	0.02	443	2.43	11	0.06	194	1.07	2	0.06	42	1.24	-	-	-	-	3	0.23
三重県	-	-	40	0.89	12	0.27	36	0.80	-	-	5	0.42	-	-	-	-	5	0.56
滋賀県	2	0.06	6	0.19	30	0.94	16	0.50	1	0.14	5	0.71	-	-	-	-	11	1.57
京都府	5	0.07	41	0.54	7	0.09	25	0.33	-	-	15	0.83	-	-	-	-	-	-
大阪府	6	0.03	177	0.94	157	0.83	124	0.66	1	0.02	33	0.63	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	117	0.91	46	0.36	141	1.10	-	-	34	0.97	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	16	0.46	20	0.57	22	0.63	-	-	21	2.33	1	0.17	-	-	4	0.67
和歌山県	4	0.13	15	0.48	15	0.48	7	0.23	1	0.25	2	0.50	2	0.18	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	70	3.68	-	-	12	0.63	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	10	0.43	4	0.17	16	0.70	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	78	1.44	22	0.41	43	0.80	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.04	121	1.61	12	0.16	73	0.97	-	-	28	1.40	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	79	1.61	-	-	105	2.14	1	0.11	7	0.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	4	0.17	5	0.22	2	0.09	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	72	2.25	39	1.22	41	1.28	1	0.33	6	2.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	4	0.10	53	1.36	5	0.13	11	0.28	-	-	21	3.00	-	-	-	-	4	0.67
高知県	1	0.03	45	1.45	7	0.23	22	0.71	1	0.33	8	2.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	0.03	225	2.85	12	0.15	63	0.80	-	-	18	1.00	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	84	3.65	-	-	36	1.57	-	-	2	0.50	-	-	-	-	2	0.33
長崎県	-	-	37	0.84	3	0.07	24	0.55	5	0.63	13	1.63	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	2	0.04	72	1.47	3	0.06	97	1.98	-	-	17	1.89	-	-	-	-	18	1.20
大分県	-	-	87	2.42	8	0.22	18	0.50	-	-	3	0.60	-	-	-	-	1	0.11
宮崎県	27	0.73	37	1.00	2	0.05	34	0.92	3	0.75	7	1.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	37	0.62	2	0.03	25	0.42	-	-	4	0.80	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	6	0.18	3	0.09	6	0.18	-	-	16	1.60	-	-	1	0.14	7	1.00

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年24週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	51	0.11	3	0.01	18	0.04
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	7	0.35	-	-	-	-
宮城県	11	0.92	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.13	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.17	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	1	0.08	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	9	0.36
神奈川県	-	-	-	-	4	0.36
新潟県	7	0.54	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.11	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	2	0.22	-	-	-	-
滋賀県	4	0.57	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	5	0.36	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	4	0.27	1	0.07	-	-
大分県	1	0.11	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第24号 平成12年6月30日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生省保健医療局結核感染症課
 厚生省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhw.go.jp/>
 <厚生省>
<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>
 <成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。